
名古屋市科学館

要覧

令和2年度



は じ め に

名古屋市科学館は、「みて、ふれて、たしかめて」をコンセプトに掲げ、世界最大級のプラネタリウム「Brother Earth (ブラザーアース)」、自然のダイナミズムを体感できる 4 つの大型展示をはじめとした多くの体験型の展示やサイエンスショーなどの実演・実験を通して、楽しみながら科学に触れることのできる施設として親しんでいただいております。

また、当館は、大学、研究機関、企業などのご協力をいただきながら、常設展示のほか、特別展・企画展、講座・講演会などを開催しております。特別展につきましては、マスコミなどとの共催により、令和元年度は「血液ツアーズ『人体大解明の旅』」はじめ 3 つの展覧会を開催し、いずれもご好評をいただくことができました。中でも「チームラボ☆学ぶ！未来の遊園地と、花と共に生きる動物達」は、来場者数が20万人を超え、昨年度の「名探偵コナン科学捜査展～真実への推理～」から2年連続で歴代最多記録を更新しました。当館は、市民をはじめ多くの皆様に支えられて成り立っており、この場をお借りして心よりお礼申し上げます。

令和2年に入り、世界規模で新型コロナウイルス感染症が流行し、感染拡大防止のため、当館は2月29日から3か月にわたり休館いたしました。その間、特別展「マンモス展～その『生命』の過去と未来～」が開催中止となり、再開後も体験型展示の多い当館では、プラネタリウムの完全予約制や展示の休止を余儀なくされ、未だ通常運営に至っておりません。有効なワクチンや治療薬が開発されるまで厳しい状況が続きますが、安心・安全にご観覧いただけるよう、感染防止対策に努めながら運営してまいります。

令和3年3月には新館開館から10周年を迎え、プラネタリウムはデジタル機器の更新などにより、さらに機能が向上したものとなります。また、生命館地下2階に、愛知県と共同で「あいち・なごやノーベル賞受賞者記念室」を開設します。

「ウィズコロナ」の時代にあって、新しい生活様式が提唱されている中、これまで毎年約130万人にご来館いただいていた当館も、ハードとソフトの両面において変革を迫られております。今後の科学館のあり方等について展望し、より多くの皆様に愛される魅力的な施設であり続けられるよう努めてまいりますので、引き続き当館の運営に格別のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和2年8月

名古屋市科学館
館長 纈纈 満

科学館の基本理念

- 1 科学の原理と応用を理解し、そのおもしろさ、楽しさを知っていただく。
- 2 人間と科学技術との関わりを考えていただく。
- 3 社会的に関心の大きい問題について科学技術的な理解をはかる。
- 4 市民に科学を通じた生涯学習の場を提供する。

名古屋市科学館では、この基本理念にもとづき、展示、教育普及の諸活動を行うとともに、学校教育との連携、市民科学活動の推進をはかっています。

科学館マスコットキャラクター



「愛称＝アサラ」

アストロ (ASTRO) 宇宙

サイエンス(SCIENCE) 科学

ライフ (LIFE) 生命

の頭文字を取って付けた愛称です。

* 制作意図

形にとらわれない自由な発想によるキャラクター。

見る人の自由な発想によって、宇宙に存在するであろう未知の生物であったり、原子やエネルギーに見えたり、また、生命の源やアメーバであったりする。

青少年の科学に対する興味や関心をやさしく高めるよう、楽しくかわいいマスコットキャラクターとした。

制作者:鈴木 勝さん

科学館シンボルマーク



* イメージ

無限に広がる宇宙の片隅に存在する青い惑星－地球

そこには、生命・物質・エネルギーさまざまなものが自然のうちに調和している。

人間は英知(科学とその技術)を持った生命として、この地球に生まれてきた。

人間は、自然のバランスをそこなわず、英知をもって幸福に暮らしていかなければならない。

制作者:竹中 香奈子さん

目

はじめに

科学館の基本理念

施設の概要

- 1 沿革……………1
- 2 組織……………3
 - (1) 組織及び職員構成……………3
 - (2) 諮問機関……………4
- 3 施設概要……………5
 - (1) 各館の概要……………5
 - (2) 建築概要……………6
 - (3) ネーミングライツの導入……………6
 - (4) 施設・設備概要……………6

令和元年度事業の概要

- 1 展示事業……………8
 - (1) 常設展示……………8
 - (2) 大型展示……………8
 - (3) 各種実演・ショー……………9
 - (4) スペシャル実演……………10
 - (5) 話題の科学……………11
 - (6) Multilingual Museum Guide……………11
- 2 特別展及び企画展……………12
 - (1) 特別展「血液ツアーズ『人体大解明の旅』」……………12
 - (2) 特別展「絶滅動物研究所」……………13
 - (3) 企画展「国際周期表年 2019 特別展」14
 - (4) 企画展「木のおもちゃ展～遊んでわかる動きや形の不思議～」……………15
 - (5) 特別展「チームラボ☆学ぶ！未来の遊園地と、花と共に生きる動物達」15
 - (6) 特別展「マンモス展～その『生命』の過去と未来～」……………16
- 3 プラネタリウム投影……………17
 - (1) 一般投影……………17
 - (2) ファミリーアワー……………17
 - (3) 学習投影・幼児投影（学校等団体向け）……………17
 - (4) 特別投影……………18
- 4 教育普及事業……………19
 - (1) 天文分野……………19
 - (2) 理工分野……………20
 - (3) 生命環境分野……………22
 - (4) その他イベント……………24
 - (5) 出前ミュージアム(その道の達人派遣事業)及び館外事業……………25

次

- (6) ボランティアの養成及び活用……………27
- (7) 科学館友の会……………30
- (8) 名古屋少年少女発明クラブとの連携事業……………31
- (9) コンクール事業……………35
- (10) 博物館実習生の受入れ……………35
- (11) 職場体験学習・職場訪問学習など……………36
- 5 調査研究……………37
- 6 印刷物の発行……………38
- 7 広報活動……………38
- 8 他施設との交流……………39
 - (1) 国内活動……………39
 - (2) 国際活動……………39
 - (3) 視察受入れ……………39
 - (4) 芸術と科学の杜……………39
 - (5) 研究機関等との相互協定等……………40
 - (6) 3館コラボ企画……………41
 - (7) 出張サイエンスショー……………41
- 9 高校生科学力向上促進事業……………42
 - (1) 高校生ものづくり実践事業……………42
 - (2) 高校生による科学の祭典 2019……………42
 - (3) 高校生のための科学の日……………42
- 10 その他……………43
 - (1) B6型蒸気機関車の動態展示に向けた調査等……………43
 - (2) ノーベル賞受賞者顕彰施設の整備……………43
- 11 研修・講座等……………43
- 12 情報収集保存活動……………47
 - (1) 情報資料室……………47
 - (2) インターネット……………47
- 13 令和元年度入館者状況……………48
 - (1) 月別利用状況(個人・団体別)……………48
 - (2) 入館者月別利用状況(利用種別)……………48
 - (3) 団体地域別入館者数……………49

参考資料

- 1 年度別入館者数……………50
- 2 常設展示品……………52
- 3 年度別決算……………57
- 4 展示協力……………60
- 5 特別展及び企画展……………64
- 6 観覧料の変遷……………69
- 利用案内……………71
- 名古屋市科学館条例……………72
- 名古屋市科学館条例施行規則……………75

施 設 の 概 要

1 沿 革

名古屋市科学館は市制施行 70 周年記念事業の一環として、昭和 37 年 11 月に天文館が建設され、その後、昭和 39 年 11 月に理工館が、平成元年 4 月に生命館が開館し、総合科学館として平成 24 年 11 月 3 日に開館 50 周年を迎えた。平成 23 年 3 月には、老朽化していた天文館・理工館を改築し、世界最大のプラネタリウムと 4 つの大型展示を備えた新たな施設として開館し、11 月には屋外展示及び外構工事の完了をもって、新館整備に係る全ての工事が終了しグランドオープンした。

昭和 33. 9. 25	科学館建設調査委員会初会合	14. 10. 25	文部科学省科学系博物館教育機能活用推進事業受託
35. 12. 16	第 1 期工事(天文館)建設着工	15. 3. 27	フランス国立「パリ発見の宮殿」と交流計画に関する合意書調印
36. 1. 11	起工式挙行	16. 12. 23～25	ロボットサッカー国際交流会開催
36. 11. 1	科学館開設準備室設置	17. 3. 2	「パリ発見の宮殿」にて、日本語プラネタリウム投影
37. 8. 10	市立名古屋科学館条例公布・施行	17. 7. 25～29	万博ロボットサッカー国際交流会開催
37. 10. 31	第 1 期工事(天文館)完工	18. 1. 25	「パリ発見の宮殿」にて、日本語プラネタリウム投影
37. 11. 1	開館式挙行	19. 2. 7	「パリ発見の宮殿」にて、日本語プラネタリウム投影
37. 11. 3	天文館一般公開	20. 10. 1	理工館・天文館改築工事着工
38. 6. 29	第 2 期工事(理工館)建設着工	21. 5. 16	入館者 2,500 万人達成
39. 10. 30	第 2 期工事(理工館)完工	22. 9. 1～	理工館・天文館改築に伴う休館
39. 11. 1	理工館一般公開	22. 10. 11～31	生物多様性条約第 10 回締約国会議開催に伴い生命館を開館
40. 9. 29	上原科学技術庁長官視察	23. 3. 19	理工館・天文館一般公開
42. 4. 1	博物館相当施設に指定	23. 4. 1	国立極地研究所との相互協力に関する協定を結ぶ
47. 4. 1	総務局から市民局へ移管	23. 10. 4	新館入館者 100 万人達成
47. 11. 1	開館 10 周年記念式典挙行	23. 11. 6	新館グランドオープン記念式典挙行
50. 10. 11	アメリカ合衆国カリフォルニア科学産業博物館と姉妹博物館提携	23. 12. 12	世界最大のプラネタリウム「Brother Earth」がギネス世界記録に認定
53. 8. 20～24	国際プラネタリウム館長会議(IPDC)開催	24. 3. 19	名古屋大学理学部との相互協力に関する協定を結ぶ
55. 4. 1	市民局から教育委員会へ移管	24. 5. 1	名古屋大学情報文化学部との相互協力に関する協定を結ぶ
56. 11. 21	西館建設調査委員会初会合	24. 7. 16	新館入館者 200 万人達成
57. 11. 1	開館 20 周年記念事業開催	24. 7. 18	(独)宇宙航空研究開発機構(JAXA)と相互協力に関する協定を結ぶ
60. 1. 20	入館者 1,000 万人達成	24. 8. 10	「芸術と科学の杜」シンボルマーク決定
60. 3. 20	65 cm 反射望遠鏡設置	24. 11. 3	名古屋市科学館開館 50 周年記念式典挙行
61. 9. 3	生命館建設着工	25. 3. 26	名古屋大学博物館と相互協力に関する協定を結ぶ
63. 11. 30	生命館完工	25. 4. 1	初代名誉館長に益川敏英氏(ノーベル物理学賞)就任
63. 12. 2	シンボルマーク及びキャラクター(アサラ)決定	25. 9. 29	中京大学人工知能高等研究所と相互協力に関する協定を結ぶ
平成元. 4. 28	生命館開館記念式典挙行	26. 1. 19	入館者 3,000 万人達成
元. 4. 29	「市立名古屋科学館」を「名古屋市科学館」に名称変更	26. 8. 27	新館入館者 500 万人達成
	生命館一般公開	28. 3. 29	名古屋市立大学との連携協力に関する覚書を結ぶ
	名古屋市科学館協議会設置	29. 8. 23	入館者 3,500 万人達成
元. 6. 14	三笠宮崇仁殿下ご視察	30. 6. 17	新館入館者 1,000 万人達成
元. 7. 25	高円宮憲仁親王殿下並びに久子妃殿下ご視察	令和元. 5. 1	第 2 代名誉館長に小林誠氏(ノーベル物理学賞)就任
2. 1. 22	博物館登録	元. 8. 17	プラネタリウム観覧者数 2,000 万人達成
3. 4. 7	皇太子徳仁親王殿下ご視察	2. 1. 22	愛知教育大学と相互連携に関する協定を結ぶ
4. 11. 1	開館 30 周年記念式典挙行	2. 2. 29	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため臨時休館
5. 7. 24	入館者 1,500 万人達成	～5. 31	
6. 3. 24	受変電設備火災事故発生		
	翌日(3. 25)から休館		
6. 7. 1	火災事故復旧工事完了・開館		
9. 7. 29	文部省科学系博物館活用ネットワーク推進事業受託		
9. 8. 2	高円宮憲仁親王殿下並びに久子妃殿下ご視察		
10. 10. 22	科学技術振興事業団・科学館整備モデル事業受託		
11. 5. 7	秋篠宮文仁親王殿下特別展ご視察		
12. 3. 14～16	アジア太平洋地域科学館協会総会等開催		
12. 11. 11	入館者 2,000 万人達成		
14. 4. 1	発明発見創造クラブ設立(～19. 3. 31)		

歴代館長等

(敬称略)

館長名		期間
初代	清水 勤二	昭和 37 年 8 月 10 日～ 昭和 39 年 5 月 31 日
第 2 代	杉戸 清	昭和 39 年 6 月 1 日～ 昭和 40 年 6 月 15 日
第 3 代	久垣 中陽	昭和 40 年 6 月 16 日～ 昭和 46 年 4 月 30 日
第 4 代	今城 栄次郎(助役・事務取扱)	昭和 46 年 5 月 1 日～ 昭和 47 年 1 月 9 日
第 5 代	佐藤 知雄	昭和 47 年 1 月 10 日～ 昭和 61 年 3 月 31 日
第 6 代	岡田 博	昭和 61 年 4 月 1 日～ 平成 4 年 12 月 31 日
第 7 代	樋口 敬二	平成 5 年 1 月 1 日～ 平成 17 年 3 月 31 日
第 8 代	岡田 大(教育長・事務取扱)	平成 17 年 4 月 1 日～ 平成 18 年 3 月 31 日
第 9 代	柳田 博明	平成 18 年 4 月 1 日～ 平成 18 年 11 月 20 日
第 10 代	岡田 大(教育長・事務取扱)	平成 18 年 12 月 1 日～ 平成 19 年 3 月 31 日
第 11 代	石丸 典生	平成 19 年 4 月 1 日～ 平成 26 年 3 月 31 日
第 12 代	瀨瀬 満	平成 26 年 4 月 1 日～

名誉館長名		期間
初代	益川 敏英	平成 25 年 4 月 1 日～ 平成 31 年 3 月 31 日
第 2 代	小林 誠	令和元年 5 月 1 日～

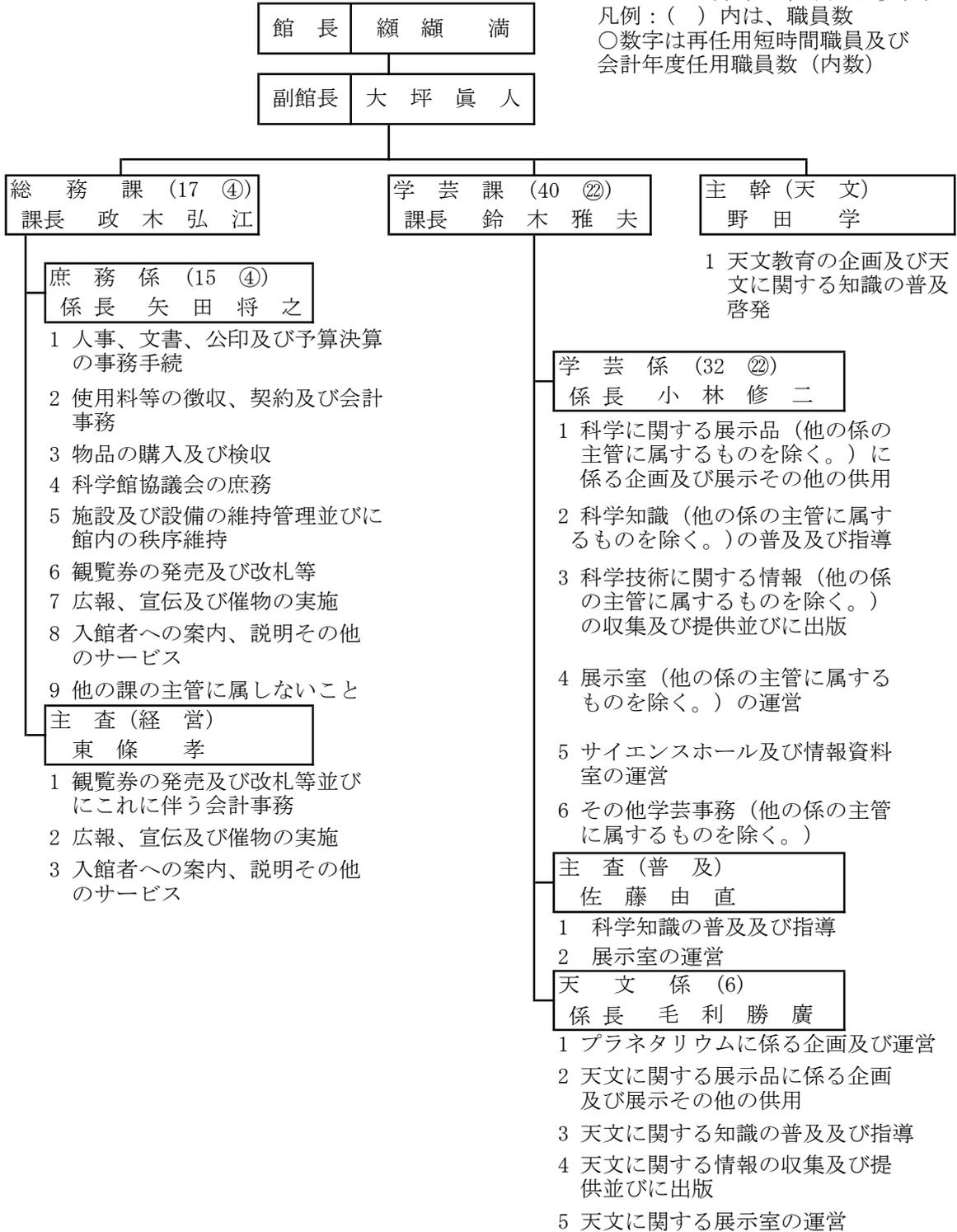
アドバイザー	石丸 典生	平成 26 年 9 月 1 日～
--------	-------	------------------

2 組織

(1) 組織及び職員構成

(令和2年4月1日現在)

凡例：() 内は、職員数
○数字は再任用短時間職員及び
会計年度任用職員数 (内数)



〔職種別職員構成〕

職名	職種	行政職 (事務)	行政職 (技術)	社会教育 主事	学芸職	非常勤 特別職	再任用短 時間職員	会計年度 任用職員	計
館長						1			1
副館長		1							1
主幹					1				1
総務課		11	2				1	3	17
学芸課		1		2	15		9	13	40
計		13	2	2	16	1	10	16	60

(2) 諮問機関

① 名古屋市科学館協議会

博物館法及び名古屋市科学館条例に基づいて設置されており、科学館の運営に関し、館長の諮問に応ずるとともに、館長に対し意見を述べる機関とされている。

科学館協議会の委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から、教育委員会が任命しており、条例により、定数は15人以内で、任期は2年とされている。

(敬称略)

氏名	役職名	氏名	役職名
川出真由美	名古屋市立野田小学校長	直江知樹	(独)国立病院機構 名古屋医療センター名誉院長
三宅美香	愛知県立昭和高等学校長	束村博子	名古屋大学大学院 生命農学研究科教授
長谷川信孝	愛知県私学協会副会長	横山清子	名古屋市立大学大学院 芸術工学研究科教授
岸本惇子	名古屋市地域女性団体 連絡協議会理事	内藤弘康	名古屋商工会議所副会頭
服部由美野	名古屋市立小中学校 PTA協議会理事	西原健二	(株)中日新聞社名古屋本社 事業局次長
内山佳子	(公募)	田辺雅泰	日本放送協会 名古屋拠点放送局長
		武藤陽一	(公財)中部科学技術センター 専務理事

[令和2年7月21日現在]

② 名古屋市科学館企画調査委員

科学に関する資料及び装置(科学館資料)に関し、調査研究を行い、もって科学館の充実を図るため、設置されており、委員は、館長の依頼を受け、科学館資料の収集及び展示の調査研究並びにその他科学館資料の専門的事項の調査研究に関することを処理するとされている。

委員は、教育委員会が選任している。

(敬称略)

氏名	役職名	氏名	役職名
水谷法美	名古屋大学大学院 工学研究科長	金田英宏	名古屋大学大学院 理学研究科教授
長谷川明生	中京大学工学部 情報工学科教授	吉田英一	名古屋大学博物館 資料基盤研究系教授
児島澄人	名古屋市工業研究所 材料技術部部長	森健策	名古屋大学大学院 情報科学研究科教授
天野浩	名古屋大学未来材料・システム研究所 未来エレクトロニクス集積研究センター長	清水裕彦	名古屋大学大学院 理学研究科教授
成瀬清	基礎生物学研究所特任教授	浅野みどり	名古屋大学大学院 医学系研究科教授
北原政子	おんたけ休暇村天文館館長	赤津裕康	名古屋市立大学大学院 医学研究科教授
寺田光宏	岐阜聖徳学園大学 教育学部教授	遠藤守	名古屋大学大学院 情報科学研究科准教授

[令和2年8月1日現在]

3 施設概要

当館は昭和 37 年に「天文館」、昭和 39 年に「理工館」、平成元年に「生命館」を開館した。天文館と理工館は平成 22 年 8 月をもって閉館し、改築整備を進めてきた新館を含めた新たな施設となった。改築後の科学館も従来と同じ天文館、理工館、生命館という 3 館で構成している。

(1) 各館の概要

<理工館>

エントランスがあり、観覧者が最初に入館する施設。

2 階から 6 階までが常設展示室、地下に特別展・企画展等を開催するイベントホール、7 階に天文台、3 階と 7 階に休憩室がある。

常設展示室には、子どもたちの科学的な気づきを促す展示から、最先端科学を扱った展示があり、分野も科学技術全般に渡り幅広く取り扱っている。

通常の展示品のほか、2 階層の吹き抜けを用いた大型展示品も整備した。

<天文館>

主に球体の施設部分であり、4 階から 6 階までのフロアで構成されている。

4 階は実演を行うサイエンスステージ、5 階は常設展示室、6 階にプラネタリウムがある。

プラネタリウムでは、幼児を含む幅広い年齢層を対象に、単に憧れとしての星空を眺めるだけでなく、天文知識や現象を正確に伝え、さらに、本当の星空にまで興味が広がるような番組構成・解説を行っている。

<生命館>

2 階から 5 階までが常設展示室、6 階に講座を開催する実験室や学習室、1 階に休憩室、地下にサイエンスホールがある。

常設展示室では、生命とは何かをあらゆる角度から総合的に解明しようとする生命科学をテーマに、「生命」「人体」「生活」及び「地球」のグループを設定し、この地球という惑星の上で、人類が豊かで健康な暮らしをするための問いかけをしている。

(2) 建築概要

区分	各棟別		
	理工館・天文館	生命館	
敷地面積	13,661.95 m ²		
建築面積	4,263.62 m ²	3,063.80 m ²	1,199.82 m ²
延床面積	22,551.32 m ²	15,735.19 m ²	6,816.13 m ²
構造	鉄骨造、一部鉄骨鉄筋	地上 7階	地上 9階
	コンクリート造	地下 2階	地下 2階
常設展示室	10室 6,515 m ²	6室 4,338 m ²	4室 2,177 m ²
開館日		H23. 3. 19	H元. 4. 29

(3) ネーミングライツの導入

対象施設：プラネタリウムドーム

愛称：Brother Earth (ブラザーアース)

権利内容：施設命名権、施設サイン掲出権等

ネーミングライツ・パートナー：ブラザー工業株式会社

契約期間：平成28年4月1日から令和3年3月31日

(4) 施設・設備概要

天文館	理工館	生命館	東館
プラネタリウム ブラザーアース 「Brother Earth」 【830 m ² (350席)】	天文台 【87 m ² 】	第2実験室 【120 m ² (36席)】	
プラネタリウム 制作室	7階休憩室 【187 m ² (96席)】	学習室 【102 m ² (54席)】	
サイエンスステージ 【173 m ² (66席)】	第1実験室 【115 m ² (48席)】	ボランティア 控室	
	3階休憩室 【251 m ² (84席)】		レストラン 【157 m ² (65席)】
	情報資料室 【97 m ² 】	1階休憩室 【385 m ² (170席)】	ミュージアム ショップ 【104 m ² 】
	イベントホール 【777 m ² 】	サイエンスホール 【440 m ² (320席)】	

令和元年度事業の概要

1 展示事業

(1) 常設展示

科学との出会いから、身近なくらしへ、そして宇宙や地球内部へと、科学に対する興味を広げていくようにテーマを設定している。

館	展示室名	展示内容
天文	5階 宇宙のすがた	広大な宇宙のスケールを実感するとともに、宇宙の姿とその不思議を紹介
理工	2階 不思議のひろば	「みる・きく・さわる・うごかす」といった体験を通して、科学の不思議さや楽しさとの出会いの場を演出する
	3階 技術のひろがり	身のまわりにある機械の仕組みや、ものづくりの知恵を科学の視点で紹介
	4階 科学原理とのふれあい	波動、電磁気、運動など自然界の原理や法則について紹介
	5階 物質・エネルギーのせかい	暮らしを支える材料、エネルギーや、物質を構成する原子・分子について様々な視点で紹介
	6階 最先端科学とのであい	地球環境を理解するため、宇宙と地下に挑む科学のフロンティアを紹介
生命	2階 地球のすがた	地球上で見られる現象や地球環境の歴史などについて紹介
	3階 生活のわざ	豊かな暮らしを送るための人間の「衣」、「食」、「住」とさまざまな生物とのかかわりを展示
	4階 人体のふしぎ	自分自身の「からだ」のふしぎさ・大切さについて学ぶ展示
	5階 生命のひみつ	地球上の生物に共通する生命のしくみと、多様性の謎に迫ろうとする展示
	屋 外	H-IIB ロケットや市電などの大型の実物展示を間近でみることができる

(2) 大型展示

館	大型展示	展示内容
理工	2～3階 水のひろば	「雲、雨、川、海」による水の循環の表現や音と光を連携させた演出を観察するとともに、水を使った様々な実験をする。
	3～4階 竜巻ラボ	3本の柱からの横方向の風で回転流をつくり、上方より空気を吸い上げることで発生した巨大な竜巻を観察し、自然界のエネルギーを体感する。
	4～5階 放電ラボ	2基の大型テスラコイルから向かってくる放電により、ダイナミックな電気エネルギーを体感する。
	5階 極寒ラボ	マイナス 30℃の極低温空間で起こる現象を観察し、極地を疑似体験する。

(3) 各種実演・ショー

実演場所	名 称	実演・実験内容	平成30年度		令和元年度	
			回数 (回)	参加者数 (人)	回数 (回)	参加者数 (人)
理工館	2階	水のひろば	来館者対象		来館者対象	
	3階	モノづくり 都市パノラマ	997	32,156	917	30,473
		竜巻ラボ	1,001	77,173	918	71,269
		4階	放電ラボ	1,713	89,428	1,567
	5階	極寒ラボ	3,364	70,347	3,063	64,482
天文館	4階	サイエンスステージ	1,119	76,177	1,029	75,828
生命館	5階	生命ラボ	407	6,243	379	5,694

(4) スペシャル実演

実演場所	事業名	開催期日	回数(回)	参加者数(人)
生命館5階 生命ラボ	のぞいてみよう！ミクロの世界	月3回日曜日 各日2回	68	1,121
	生きものかんさつタイム			
	～メダカ	4/1～4/30の平日	15	698
	～ミジンコ	5/1～5/31の平日	13	517
	～ヘイケボタル	6/1～6/30の平日	15	566
	～ゾウリムシ	7/1～7/31の平日	16	1,035
	～プランクトン	8/1～8/31の平日	15	2,329
	～プラナリア	9/1～9/30の平日	11	526
	～メダカ	10/1～10/31の平日	16	1,227
	～ミジンコ	11/1～11/30の平日	15	991
	～ボルボックス	12/1～12/28の平日	11	488
～ゾウリムシ	1/4～1/31の平日	14	950	
～ヘイケボタル	2/1～2/29の平日	13	544	
	国際植物の日記念行事 「もっと知ろう、植物の生命力の秘密」 協力：理化学研究所	5/18・19	3	269
	健康福祉局 中央卸売市場食品衛生 検査所によるワークショップ ～「あなたの手の菌「見える化」しま すよ！～手洗いで上手なお付き合い	8/7・8/8	2	885

(5) 話題の科学

理工館 6 階		
コーナー	テーマ	展示時期
右	祝 2018 ノーベル生理学・医学賞 受賞	平成 31 年 3 月～
	ブラックホールシャドウ	令和元年 6 月～
	アポロ 11 号	元年 7 月～
	質感脳-質感をとらえる脳のはたらき	元年 9 月～
	ノーベル賞吉野先生(速報)	元年 10 月～
	2019 ノーベル賞	元年 11 月～
	街の中で見つかる化石	2 年 1 月～
左	質感脳-質感をとらえる脳のはたらき	平成 31 年 3 月～
	ブラックホールシャドウ	31 年 4 月～
	元素周期表 150 周年	令和元年 6 月～
	吉野彰とリチウムイオン電池	2 年 1 月～
生命館 5 階		
バイオ ギャラリー	ホテルの光の最新研究	平成 31 年 1 月～

(6) Multilingual Museum Guide (外国語音声案内サービス)

プラネタリウムドームのネーミングライツパートナーであるブラザー工業株式会社の提供により、平成 26 年 11 月 5 日(水)から運用を開始し、平成 30 年 10 月 30 日(火)からは QR コードを用いた方式に改良して運用している。

○サービス概要 (新方式)

来館者自身のスマートフォンを利用した外国語音声案内サービスで、専用の無料アプリケーションをインストールし、展示品に添付された QR コードを読み取ると音声案内が再生される。

専用アプリケーションのダウンロードは、科学館エントランスホールに設置の無料 Wi-Fi スポットを利用して行うことができる。

○対応言語

英語 中国語(繁体、簡体) 韓国語 日本語

○対応展示

理工館 3 階から 5 階までの展示 29 点

2 特別展及び企画展

(1) 特別展「血液ツアーズ『人体大解明の旅』」

- ①開催趣旨 人体各部の構造やはたらきを解明することは、病気の治療や予防に役立つだけでなく、生命について、自分自身について知ることである。今この瞬間もさまざまな研究が行われ、新たな発見が続いている。からだの中を流れる血液とともに「旅」をして、さまざまな旅先(人体各部)で、その「しくみ」や「はたらき」について体験をまじえて分かりやすく解説した。
- ②開催期間 3月16日(土)～6月2日(日) 開催日数 66日
- ③入場者 80,302人
- ④会場 理工館地下2階 イベントホール
- ⑤主催 名古屋市科学館、中日新聞社、CBCテレビ、テレビ愛知
- ⑥後援 愛知・岐阜・三重各県教育委員会、愛知県私学協会、愛知県子ども会連絡協議会、愛知県私立幼稚園連盟、名古屋青年会議所
- ⑦共催 日本医学会総会 2019 中部
- ⑧特別協力 名古屋大学大学院医学系研究科
- ⑨協力 国立科学博物館、川崎医科大学現代医学教育博物館、金沢大学資料館、新潟大学大学院医歯学総合研究科 顕微解剖学分野 教授 牛木辰男、奈良県立医科大学大学院 医学研究科 生体高分子学 教授 酒井宏水、京都大学 iPS 細胞研究所 (CiRA) 教授 江藤浩之、名古屋大学大学院情報学研究科 森健策研究室、東北大学サイバーサイエンスセンター/ COI ストリーム 教授 吉澤誠、名古屋市衛生研究所、名古屋市食品衛生検査所、下関市保健所、ファイン・バイオメディカル有限会社、テルモ株式会社、ボストン・サイエンティフィック ジャパン株式会社、ガデリウス・メディカル株式会社、株式会社タイムラプスビジョン、ゲティンゲグループ・ジャパン株式会社、富士フイルムメディカル株式会社、コヴィディエンジャパン株式会社、千寿製薬株式会社、日本ストライカー株式会社、ノボ ノルディスクファーマ株式会社、バイエル薬品株式会社、マシモジャパン株式会社、エドワーズライフサイエンス株式会社、日本メドトロニック株式会社、アボットメディカルジャパン株式会社、岩崎模型製造株式会社、ロコモ チャレンジ! 推進協議会、株式会社講談社、株式会社 CBC ラジオ、近畿日本鉄道株式会社 (順不同、敬称略)
- ⑩入場料
- | | | |
|---------|--------|--------------|
| 大人 | 1,200円 | [前売券 1,000円] |
| 高校生・大学生 | 700円 | [前売券 500円] |
| 小中学生 | 500円 | [前売券 300円] |
- ⑪展示内容 展示構成を[1]旅のはじまり、[2]からだの名所めぐり、[3]仲間たちの活躍、[4]旅の終わりに、の4つとし、体験的なものを「ブラっと広場」に集めた。細胞擬人化コミック「はたらく細胞」のキャラクターとコミックページ、人体臓器の実物大・大型の模型・3Dモデル、血球の1万倍模型、臓器・組織・血球・などの撮影動画・静止画・アニメーション、血管鋳型標本(ウサギ腎臓)、撮影や治療に使われる医療機器(内視鏡、人工血管など)、シミュレーター EVE(イヴ)、からだや血液に関する体験(心音クイズ、血行状態モニタリング装置「魔法の鏡」、2ス

テップテスト、手の骨の成長、目・耳・舌の観察など）、ウエーバー 全身血管図などを展示した。

⑫関連事業 （※特別協力・講師：名古屋大学大学院医学系研究科）

内 容	協力・講師	実施日	参加者数
A「内出血」はなぜ青くなるの？ （小学生とその保護者）学習室	皮膚科 武市拓也	3月27日（水）	29人 （大人12、 子ども17）
B「血糖値」上昇のしくみと原因 ～ごはんは 体のどこへいく？～ （小学生とその保護者）学習室	糖尿病・内分泌内科 恒川卓	3月29日（金）	26人 （大人12、 子ども14）
S みんなの不思議を解き明かす！「人体大解 明 質問コーナー」（小中学生とその保護者） サイエンスホール	血液・腫瘍内科学 清井仁 整形外科・リハビ リテーション科 西田佳弘	3月30日（土）	147人 （内当日整 理券55人） （大人72、 子ども75）
C 血液の不思議 （小5・小6とその保護者、中学生）学習室	輸血部 鈴木伸明	3月31日（日）	43人 （大人17、 子ども26）
D 姿勢が悪いっていわれませんか？ （小3～小6と保護者） 学習室	整形外科 小林和克	4月3日（水）	33人 （大人13、 子ども20）
E「骨と筋肉」のひみつ ～どうやって体は動くの？～ （小学生とその保護者）学習室	整形外科 新井英介	4月20日（土）	35人 （大人14、 子ども21）
F 人や動物はなぜ温かいのか 「体温」のはなし （小3～小6とその保護者、中学生）学習室	統合生理学 中村 和弘	4月27日（土）	30人 （大人14、 子ども16）
G「かさぶた」っていったい何？ （5歳～小6と保護者）第1実験室	形成外科 高成啓介	5月6日（月休）	20人 （大人6、 子ども14）
H「心臓血管」のはたらきとしくみ （小学生と保護者）第1実験室	心臓外科 寺澤幸枝	5月19日（日）	26人 （大人11、 子ども15）

（2）特別展「絶滅動物研究所」

①開催趣旨 人間は、食糧の確保から単なる鑑賞目的まで多岐にわたる理由により、有史以前から様々な動物の絶滅を引き起こしてきた。本展では、人間によって絶滅させられた動物たちを紹介するとともに、いま絶滅の危機に瀕している動物たちをどのように守っているのかを、動物園の活動を例に解説し、生物と人間のこれからの関わり方を考えてもらう展示を行った。

②開催期間 7月6日（土）～9月8日（日） 開催日数 53日

- ③入 場 者 145,566 人
- ④会 場 理工館地下2階 イベントホール
- ⑤主 催 名古屋市科学館、中京テレビ放送
- ⑥特別協賛 ブラザー工業
- ⑦協 賛 野田塾、県民共済
- ⑧特別協力 名古屋市東山動植物園
- ⑨協 力 Smithsonian National Museum of Natural History (USA)、国立科学博物館、我孫子市鳥の博物館、いしかわ動物園、愛媛県総合科学博物館、神奈川県立生命の星・地球博物館、環境省、北広島市エコミュージアムセンター、神宮司庁、豊橋市自然史博物館、名古屋港水族館、福井県立恐竜博物館、北海道博物館、和歌山県立自然博物館、和歌山大学教育学部、山階鳥類研究所、琉球大学動物生態学研究室、日本野鳥の会愛知県支部、芹沢俊介、出口智広、戸田尚希、鳥居ちゑ子、絶滅動物園プロジェクト（順不同、敬称略）
- ⑩入 場 料
- | | | |
|---------|---------|---------------|
| 大人 | 1,400 円 | [前売券 1,200 円] |
| 高校生・大学生 | 800 円 | [前売券 600 円] |
| 小中学生 | 500 円 | [前売券 300 円] |
- ⑪展示内容
- (1) ZONE1：絶滅した動物たち
人間が原因で絶滅した動物たちを、剥製などにより紹介し、絶滅に至った原因と、それによって引き起こされた生態系の擾乱等を総合的に解説。
- (2) ZONE2：地域と絶滅
日本国内の地域的な絶滅の状況や、絶滅危惧種を紹介し、生物多様性保全について解説した。
- (3) ZONE3：映像 ROOM
実際に絶滅に瀕している動物を、貴重な映像で紹介。
- (4) ZONE4：種の保全の取り組み
東山動物園の取り組みを取り上げ、普段は見ることのできない、種の保全の場としての動物園の活動を紹介した。

(3) 企画展「国際周期表年 2019 特別展」

- ①開催趣旨 2019 年は 1869 年にメンデレーエフが元素の周期律を発見して 150 年目にあたりユネスコが国際周期表年と制定した。本展は周期表の起こりから現在までの発展、生活と元素との関係などを楽しみながら理解できるように紹介した。なお、本展は日本化学会および国際周期表年実行委員会が制作した展覧会であり、全国 12 か所を巡回した。
- ②開催期間 9 月 21 日（土）～9 月 29 日（日） 開催日数 8 日
- ③入 場 者 4,299 人
- ④会 場 理工館地下2階 イベントホール ロビー
- ⑤主 催 名古屋市科学館
- ⑥協 力 公益財団法人日本化学会、国際周期表年実行委員会
- ⑦入 場 料 常設展観覧料で観覧可能
- ⑧展示内容 元素周期表の起こりから現在までの発展、生活と元素との関係、科学者の活躍と

我が国の研究成果などを楽しみながら理解できるようパネルや実物展示、体験展示にて紹介した。また、名古屋市科学館オリジナルコーナーの制作や企画展内容と常設展示をつなぐため館内にスタンプラリーを設置するなど様々な取り組みを行った。

(4) 企画展「木のおもちゃ展～遊んでわかる動きや形の不思議～」

- ①開催趣旨 手を使って遊ぶことで、3次元の立体構成や、動きのメカニズムについて学ぶことができる展示を行った。理屈から学ぶのではなく、手を動かし、手で考えながら自ら気がついていく学びを体験できる。
- ②開催期間 11月2日(土)～11月10日(日) 開催日数8日
- ③入場者 3,786人
- ④会場 理工館地下2階 イベントホール
- ⑤主催 名古屋市科学館
- ⑥協力 遠藤裕、加藤清克(敬称略)
- ⑦入場料 常設展観覧料で観覧可能
- ⑧展示内容 カムやリンクなど機械の基本や、数学の多面体などについて遊びながら知ることができる玩具を、体験できるように展示した。また、多面体玩具を制作する作家の作品の変遷をたどることで、ものづくりのアイデアの重要性と数学の楽しさについて知ることができる展示を行った。

(5) 特別展「チームラボ☆学ぶ！未来の遊園地と、花と共に生きる動物達」

- ①開催趣旨 本特別展は、デジタル技術を駆使した「デジタルアート」の先駆けとして知られるチームラボによる展覧会で、前回、平成28年度に開催し、大好評を得た。今回は東京お台場にオープンした常設展でも人気の新作や、東海地方初登場の作品を集めて展示した。
- ②開催期間 11月30日(土)～2月16日(日) 開催日数61日
- ③入場者 204,994人
- ④会場 理工館地下2階 イベントホール
- ⑤主催 名古屋市科学館、中京テレビ放送、チームラボキッズ株式会社
- ⑥入場料 大人 1,500円 [前売券 1,400円]
高校生・大学生 800円 [前売券 700円]
小中学生 500円 [前売券 400円]
- ⑦展示内容 「共同的な創造性、共創(きょうそう)」をコンセプトにした教育的なプロジェクトであり、他者と共に世界を自由に創造することを楽しむ、「学ぶ！未来の遊園地」の作品の中から、「Graffiti Nature」、「お絵かき水族館」、「すべて育てる！フルーツ畑」などの作品を展示。また、名古屋初上陸のアートコンテンツとして、「花と共に生きる動物達」を展示した。その他、「お絵かき水族館」で描いた絵のオリジナル缶バッジをその場で作る「缶バッジファクトリー」を開催した。

(6) 特別展「マンモス展～その『生命』の過去と未来～」

令和2年2月29日から6月1日まで休館に伴い、中止した。

- ①開催趣旨 本特別展は、絶滅したマンモスとはどのような動物か、またマンモスを材料とした最先端の生命科学を紹介し、来場者に生命とは何かを考えるきっかけを提供する。
- ②開催期間 3月14日(土)～6月14日(日)
- ③会場 理工館地下2階 イベントホール
- ④主催 名古屋市科学館、中日新聞社、東海テレビ放送
- ⑤入場料
- | | | |
|---------|--------|--------------|
| 大人 | 1,600円 | [前売券 1,400円] |
| 高校生・大学生 | 900円 | [前売券 700円] |
| 小中学生 | 500円 | [前売券 300円] |
- ⑥展示内容 2005年の愛・地球博でも展示されたロシア連邦サハ共和国の永久凍土から発掘されたユカギルマンモスほか、世界初公開を含む冷凍標本の展示や最先端生命科学の研究内容の紹介を行う。

小学校 4年生向け	「冬の星座と太陽・月・星の動き」 プラネタリウムで星座を探したり、太陽・月・星が時間とともに動いていくようすを眺め、楽しみながら天体に関心を持てるような話をする。	11/28～2/18 (34日間)	61	17,834 (252校)
小学校 6年生向け	「地球から宇宙へ」 太陽と月と地球の関係、太陽系のしくみ、そして広大な宇宙の姿にふれ、宇宙の中の人間について考える。	9/18～11/20 (30日間)	55	16,186 (228校)

【参考】平成30年度

事業名	投影回数	観覧者数(人)
幼児向け投影	81	24,588 (644園)
小学校 4年生向け	66	18,912 (258校)
小学校 6年生向け	56	16,955 (236校)

※令和2年2月29日からの休館に伴い、一部を中止した。

(4) 特別投影

テーマについてじっくり解説する大人むけの夜間の特別投影と、聴覚障害者の方も健常者とともに鑑賞できるようにライブで解説を字幕で投影する特別投影

① 夜間投影

18時30分からの大人むけプログラム。七夕やお月見など、その時々になんだ天文の話題を取り上げる場合と、同月の一般投影の内容を基本に映像演出や話題を加える場合がある。

開催期日	テーマ	参加者数(人)	開催期日	テーマ	参加者数(人)	
4月26日	宇宙から地球をみる	251	11月26日	オーロラの夜	323	
6月14日	世界の星座たち	247	12月21日	クリスマス之夜	319	
7月7日	七夕之夜	294	12月22日		255	
8月30日	宇宙のひろがり	265	1月28日	星空のオルゴール	231	
9月13日	お月見之夜	164	2月18日	夜空に潜むダークマター	219	
10月25日	オーロラの夜	301	3月20日	ビッグバン宇宙論	0※	
【参考】平成30年度参加人数=3,103人					計	2,869

※令和2年2月29日からの休館に伴い中止した。

② 字幕付きプラネタリウム

プラネタリウム番組に字幕を付けて投影

◇ 対象 一般(聴覚障害者を含む)

◇ 開催期日 9/23、3/29※

◇ 参加者数 345人 【参考】平成30年度参加人数=690人

※令和2年2月29日からの休館に伴い、2回目を中止した。

4 教育普及事業

(1) 天文分野

(講師：敬称略)

連携…連携協定に基づくもの

事業名及び事業内容	開催期日	参加者数 (人)	共催者等	市費	連携
昼間の星をみる会 天文台の望遠鏡で昼間にみえる星を観望	4月14日(日)～ 3月22日(日) (19回※)	11,450		○	
市民観望会 プラネタリウムでの講座の後、天文台の口径80cm大望遠鏡や「星のひろば」に設置した望遠鏡で、観望条件のよい天体をご覧いただく	5月11日(土)～ 3月7日(土) (10回※)	1,681			
月と二重星をみる会	5月11日(土)	181			
月と春の一等星をみる会	6月8日(土)	139			
木星と月をみる会	7月13日(土)	158		○	
木星をみる会	7月27日(土)	52			
木星と土星をみる会	8月10日(土)	232			
土星と木星をみる会	8月24日(土)	212			
土星をみる会	9月14日(土)	234			
土星と月をみる会	10月5日(土)	253			
月とすばるをみる会	12月7日(土)	220			
月と金星をみる会	3月7日(土)	-			
第28回公開セミナー 天文学の最前線 「天文学の最前線」～生命と宇宙環境～ 講演会・座談会・プラネタリウム (高校生以上)	8月4日(日)	240 (科学館)	名古屋大学大学院 理学研究科・宇宙 地球環境研究所		○
おんたけ天文教室 木曾御岳の雄大な自然の中にある名古屋市 民おんたけ休暇村で天体観望を行う	平成29年6月26 日の地震の影響で 中止	-	(公財)名古屋市民 休暇村管理公社		
名古屋エアロスペーススクール JAXAが主催する航空宇宙産業の中心地である名古屋及び周辺地域で行う合宿制教育プログラム 名古屋空港飛行研究拠点、MRJミュージアム、愛知航空ミュージアム、名古屋大学、名古屋市科学館で行った (高校生、中等教育学校後期課程(4から6学年)、高等専門学校生)	8月6日(火)～ 8月9日(金)	24	独立行政法人宇宙 航空研究開発機構		○
プラネタリウムと星空観察会 星空の見え方を継続観察することで、星をみえにくくしている光害の実態とその推移を調査する (小学4年生以上)	8月25日(日)	27	名古屋市環境局		

事業名及び事業内容	開催期日	参加者数 (人)	共催者等	市費	連携
ドキュメンタリー映画 「アポロ11 ファースト・ステップ版」 アポロ11号月面着陸50周年を記念したドキュメンタリー映画を上映	8月6日(火)～ 8月22日(木) 8月27日(火)～ 8月29日(木)	5,727		○	
	8月23日(金)～ 8月25日(日) 8月30日(金)～ 9月29日(日)	入館者対象			
NHK公開セミナー「コズミックフロント☆NEXT」 in 名古屋市科学館 宇宙から降り注ぐ“粒子”で大発見 ～ミューオン、ニュートリノの観測現場から～	12月14日(土)	281	NHK名古屋放送局・NHK文化センター		
部分日食をみる会	12月26日(木)	250		○	
坂田・早川記念レクチャー (高校生以上)	サイエンスホールの改修工事に 伴い、開催見送り	-	名古屋大学大学院 理学研究科・素粒子宇宙起源研究機構		○

※令和2年2月29日からの休館に伴い、一部を中止した。

(2) 理工分野

(講師：敬称略)

連携…連携協定に基づくもの

事業名及び事業内容	開催期日	参加者数 (人)	共催者等	市費	連携
名古屋市立大学 × 名古屋市科学館サイエンスパートナーシップイベント 中高生向けサイエンスカフェ 「元素周期表ができるまで・日本最大の元素周期表展示」	7月14日(日)	37	名古屋市立大学		○
放射線ウォッチング 測定キットの組み立てと測定・実験 (教員・高校生)	7月23日(火)～ 7月26日(金)	88	中部原子力懇談会		
工作教室(ジュニアコース) 「フルカラーLEDで色をまなぼう」 (小学5・6年生)	7月26日(金)	28		○	
電子工作教室(親子コース) 「オルゴールごまをつくろう」 (小学3・4年生と保護者)	7月27日(土) 7月28日(日)	60 (30組)		○	

事業名及び事業内容	開催期日	参加者数 (人)	共催者等	市費	連携
木曾ひのきからアロマオイルをとりだそう (小学校3～6年生と保護者)	7月30日(火) 7月31日(水)	80 (40組)	木曾広域交流 事業基幹委員会		
第22回リフレッシュ理科教室 「3倍楽しめる光の工作」 A.「シリンダーミラー 3きょうだい！」 B.「レンズ 3きょうだい！」 ①先生のための実験工作教室 (小中学校の教員) ②こどものための実験工作教室 (小学3年生～中学生)	8月2日(金) 8月3日(土)	131 (内訳) ①28 ②103	(公社)応用物理 学会		
夏休み親子写真教室 「ピンホールカメラを作り、撮影・現像しよう」 空き箱に小さな穴をあけてピンホールカメラを作り、白黒写真で撮影、現像、プリントをする (小学生と保護者)	8月24日(土) 8月25日(日) (4回実施)	64組 133 小人 66 大人 67	(公社)日本写真 協会		
名古屋市科学館・中京大学連携講座 「最高の科学技術を子どもたちに！」—大学 教授と学ぶものづくり— 虹色の金属結晶を育成しよう 講師：中京大学教授 田口 博久 (人工知能高等研究所所属) (中学生・高校生、中学生保護者同伴)	8月31日(土)	15組 27 中学生 11 高校生 4 大人 2	中京大学・人工知 能高等研究所		○
マグネシウム電池で電子植物をつくろう (小学校3年生以上、 小学3・4年生保護者同伴)	9月21日(土)	46 小人 22 大人 24	(公財)名古屋まち づくり公社名古屋 都市センター		
親子からくり教室 九代玉屋庄兵衛さんによる茶運び人形の実 演とお話、茶運び人形の変身からくりを工作 するワークショップ (小学生と保護者)	9月22日(日)	20組 40	九代玉屋庄兵衛 後援会		
かがくゼミナール ニッポニウム 小川正孝の新元素 講師：愛媛県総合科学博物館 専門学芸員 久松 洋二 (小学3年生～中学生と保護者)	9月23日(月祝)	28組 56		○	
楽しい鉄道模型 ボランティアが持ち寄ったいろいろな列車 模型の走行	10月20日(日) 2月23日(日)	来館者	名古屋鉄道模型 クラブ		
おやこの実験室 「氷で遊ぼう」 (小学1～4年生と保護者)	12月25日(水) 12月26日(木) (4回実施)	111		○	

事業名及び事業内容	開催期日	参加者数 (人)	共催者等	市費	連携
かがくの実験室「NCSmで元素な冒険」 (小学3年生～中学生と保護者)	3月7日(土)※ 3月8日(日)※ (4回実施)	-		○	

※令和2年2月29日からの休館に伴い中止した。

(3) 生命環境分野

(講師:敬称略)

連携…連携協定に基づくもの

事業名及び事業内容	開催期日	参加者数 (人)	共催者等	市費	連携
第46回「化石を語る」文化講演会 「昆虫考古学」 金城学院大学 森 勇一	4月29日(月祝)	213	東海化石研究会 中日新聞社		
フィールドセミナー 地球教室 学習した後現地で実習する2日連続講座 (小学3年生以上、小学生保護者同伴)		115 (内訳)			○
①博物館の収蔵庫と野外で深海の地層と化石を調べよう！ (名古屋大学博物館、南知多の海岸)	5月18日(土) 5月19日(日)	31	名古屋大学博物館		○
②発見！火山がつくった化粧品 (名古屋大学博物館、東栄町三振工)	8月24日(土) 8月25日(日)	22	協力 ・愛知大学名古屋 一般教育研究室 ・名古屋市立大学 ・蒲郡市生命の海 科学館		○
③ナゴヤで化石をさがそう！ (名古屋大学博物館、名古屋駅周辺、栄地区)	11月2日(土) 11月3日(日)	31			○
④鉱物をさがそう！ (名古屋市科学館、蒲郡市生命の海科学館、 三田石材(愛知県西尾市))	2月22日(土) 23日(日)	31			○
第5回 病院の機械を操作してみよう！ ～いのちのエンジニア体験～ 様々な医療機器の展示と操作の体験、関連する豆知識講座、展示ガイドツアーなど	6月15日(土) 6月16日(日)	4,339	(一社)愛知県臨床工学技士会		
第26回生きている地球の記録 2019年グリーンイメー国際環境映像祭入賞作品上映会 「全方位から向けられた槍」始め7本	7月21日(日)	204	(公財)三菱UFJ環境財団、中日新聞社、グリーンイメー国際環境映像祭実行委員会		
おじゃま虫キャラバン 「ハチのからだを見てみよう」 ①スズメバチをはじめとした生きた昆虫や標本、衛生害虫の模型などの展示、簡単な工作 ②ハチ標本作り講習会	7月31日(水)	670 (内訳) ① 630 ② 40	名古屋市健康福祉局生活衛生センター	○	

事業名及び事業内容	開催期日	参加者数 (人)	共催者等	市費	連携
第40回古川為三郎サイエンス講演会 「アホウドリ移住計画はどこまで進んだ？」 講師：兵庫県立大学大学院 准教授 出口 智広	8月25日(日)	135		○	
生きものおりがみワークショップ ・国産竹100%の竹紙を使用した、生きものの 折り紙ワークショップ ・COP10会場で展示されたタイムカプセルの展 示 (3歳以上、未就学児保護者同伴)	8月31日(土)	488	名古屋市環境局 国際自然保護 連合日本委員会		
かがくゼミナール 「くすりのなかみを見てみよう」薬との上手な つきあい方 パート18 講師：名古屋市薬剤師会 前田 理沙 他 会員のみなさん (小学3年～中学生と保護者)	10月27日(日)	15組 30 小人15 大人15		○	
名古屋市立大学×名古屋市科学館 サイエンスパートナーシップイベント 生命科学と化学の融合 「クモ糸というタンパク質の科学」 講師：名古屋市立大学大学院准教授 片山 詔久 「見た目だけじゃわからない！～植物の中の 宝物を探して～」 講師：名古屋市立大学講師 寺坂 和祥 「これぞ生命と化学の融合！バイオミメティ クス」 講師：名古屋市科学館学芸員 山田 厚輔、 柏木 晴香 研究者・学芸員との交流会 展示室自由見学 (中学生・高校生、中学生保護者同伴)	11月4日(月振)	57	名古屋市立大学		○
かがくの実験室 「身近な生き物を観察しよう！～鳥と構造色 ～」 講師：名古屋大学大学院准教授 竹岡 敬和 名古屋大学博物館研究員 梅村 綾子 名古屋市科学館学芸員 柏木 晴香 (小学5年生以上、小学生保護者同伴)	11月16日(土)	11	名古屋大学	○	
第104回農芸化学会サイエンスカフェ in 名古屋「身体に効くおいしい食肉」 講師：名城大学農学部応用生物化学科 教授 林 利哉	11月29日(金)	35	(公財)日本農芸 化学会		

事業名及び事業内容	開催期日	参加者数 (人)	共催者等	市費	連携
かがくゼミナール 「薬局の薬で実験しよう 漢方編」 薬との上手なつきあい方 パート19 講師：名古屋市薬剤師会 前田 理沙 他 会員のみなさん (中学生～高校生)	2月2日(日)	29組 29 中学生 27 高校生 2		○	
かがくの実験室「大理石ウォッチング2～街で見かける石を見分けよう～」 (小学5年生以上)	3月20日(金祝)※ 3月21日(土)※	-		○	

※令和2年2月29日からの休館に伴い中止した。

(4) その他イベント

(講師：敬称略)
連携…連携協定に基づくもの

事業名及び事業内容	開催期日	参加者数 (人)	共催者等	市費	連携
科学技術週間記念講演会 ① 講演会 富士山のテッペンとボクの手のひら 講師：NPO 法人ガリレオ工房 理事 認定NPO 法人富士山観測所を活用する会 理事 古田 豊 NPO 法人ガリレオ工房 理事 古野 博 ② 「科学技術映像祭」作品上映会 テレビアニメ「はたらく細胞」	4月20日(土)	153	(公財) 中部科学 技術センター		
さよならサイエンスホール特別企画 超拡大サイエンスショー	8月31日(土) 9月1日(日)	750		○	
青少年のための科学の祭典 2019 名古屋大会 会場：名古屋市科学館、でんきの科学館	10月5日(土) 10月6日(日)	5,301 (9,024) ()内はでん きの科学館 含む	「青少年のための 科学の祭典」名古屋 大会実行委員会・(公財)中部科 学技術センター・ (公財)日本科学技 術振興財団・中日 新聞社		
プラネタリウム特別投影 「QUEEN-HEAVEN-」	10月19日(土) 10月20日(日)	700	(公財)名古屋市 文化振興事業団		
	11月2日(土) 11月3日(日)	655	クラシック名古屋		

(5) 出前ミュージアム(その道の達人派遣事業)及び館外事業

職員やボランティアが小中学校へ出向き、日ごろ学校では実施困難な大型機材を活用した科学実験ショー、身近な材料を使用した科学工作の指導及び学芸員によるオリジナルな資料等を使用した科学講座を展開し、ふだんと一味違った授業を行った。

①出前ものづくり工房(ものづくりボランティア)

テーマ	区	学校名	学年	月	日	曜	参加者数	ボランティア数	
びっくりへび	千種	見付小学校	1	6	13	木	83	4	
虹の筒	名東	高針小学校	2	6	18	火	73	4	
浮沈子	南	道德小学校	4	6	20	木	57	4	
びっくりへび・虹の筒・ぱたぱたチョウ・浮沈子・からまり時計・息をする人形	緑	黒石小学校	1・2・3・4・5・6	6	25	火	248	12	
びっくりへび・虹の筒・ぱたぱたチョウ・浮沈子・息をする人形	港	野跡小学校	1・2・3・4・6	7	2	火	169	8	
息をする人形	南	笠寺小学校	6	7	4	木	67	8	
びっくりへび	中	大須小学校	1・特	7	11	木	29	4	
びっくりへび・虹の筒	港	港西小学校	1・2	9	18	水	160	8	
びっくりへび	天白	平針北小学校	1	11	12	火	43	4	
びっくりへび	東	東白壁小学校	1	11	14	木	85	4	
ぱたぱたチョウ	守山	天子田小学校	3	11	20	水	56	4	
びっくりへび・虹の筒	中川	明正小学校	1・2	11	21	木	60	4	
びっくりへび	守山	二城小学校	2	11	26	火	75	4	
びっくりへび・ぱたぱたチョウ	瑞穂	御劔小学校	2・3	11	27	水	90	4	
虹の筒	緑	相原小学校	2	12	5	木	89	4	
びっくりへび	名東	藤が丘小学校	1	12	13	金	101	4	
びっくりへび・虹の筒	北	清水小学校	1・2	12	17	火	101	8	
びっくりへび・虹の筒	西	城西小学校	1・2	12	18	水	141	8	
びっくりへび・虹の筒	南	明治小学校	1・2	1	15	水	91	8	
からまり時計	天白	植田小学校	5	1	21	火	76	8	
びっくりへび・ぱたぱたチョウ	港	西築地小学校	1・2・3	1	22	水	93	4	
びっくりへび・虹の筒・ぱたぱたチョウ	北	楠西小学校	1・2・3	1	23	木	128	8	
ぱたぱたチョウ	南	伝馬小学校	3	1	28	火	41	4	
びっくりへび・虹の筒・ぱたぱたチョウ	南	笠東小学校	1・2・3	1	29	水	192	8	
虹の筒・ぱたぱたチョウ・浮沈子	昭和	吹上小学校	2・3・4	1	30	木	142	8	
ぱたぱたチョウ	名東	香流小学校	3・特	2	4	火	127	8	
虹の筒	中	松原小学校	2	2	6	木	40	4	
ぱたぱたチョウ	港	高木小学校	3	2	7	金	80	4	
びっくりへび・ぱたぱたチョウ・息をする人形	西	南押切小学校	2・3・6	2	21	金	64	8	
計				29回			2,801	172	
				平成30年度実績			30回	2,962	192

②出前サイエンスゼミナール（学芸員）

内 容	実 施 学 校 名	開 催 期 日	参 加 者 数 (人)
空気の花	滝川小学校 4年生	5月16日(木)	124
プールのヤゴを救おう	本郷小学校 3年生	6月5日(水)	55
空気の花	天子田小学校 4年生	7月3日(水)	51
雪の結晶をつくろう	柳小学校 5年生	10月4日(金)	61
自分で調べる脳のはたらき	千代田橋小学校 5年生	10月17日(木)	79
岩石の観察と地球の歴史	森孝西小学校 6年生	11月6日(水)	48
岩石の観察と地球の歴史	松栄小学校 6年生	11月12日(火)	148
岩石の観察と地球の歴史	西前田小学校 6年生	11月13日(水)	44
岩石の観察と地球の歴史	南押切小学校 6年生	11月20日(水)	20
宇宙の果ては？	はとり中学校 2年生	11月20日(水)	250
岩石の観察と地球の歴史	八幡小学校 6年生	11月27日(火)	120
雪の結晶をつくろう	北一社小学校 5年生	1月9日(木)	78
雪の結晶をつくろう	東志賀小学校 5年生	1月21日(火)	67
雪の結晶をつくろう	天白養護学校	1月22日(水)	13
計		14回	1,158
平成30年度実績		6回	482

③トワイライト事業（運営員）

内 容	実 施 学 校 名	開 催 期 日	参 加 者 数 (人)	共 催 者
低温の実験・静電気の実験	桶狭間小学校	10月10日(木)	63	(公財)名古屋市教育スポーツ協会
	正色小学校	10月24日(木)	43	
	千音寺小学校	11月7日(木)	62	
	柴田小学校	11月14日(木)	40	
	中川小学校	11月28日(木)	32	
	緑小学校	2月20日(木)	83	
	笹島小学校	2月27日(木)	23	
計		7回	346	
平成30年度実績		7回	351	

(6) ボランティアの養成及び活用

①天文ボランティア (ALC) 登録者数 136 人

事業名及び内容	開催期間	参加ボランティア (人)
【養成】 天文指導者養成講座 天文事業にボランティアとして協力できる人材を養成する講座で、参加資格は高校生以上(基礎講座5回・実技講座5回・宿泊研修・講演会等)。		-
【活用(館内事業)】 天文指導者養成講座修了者を天文ボランティアとして活用		756
1) 市民観望会(計10回※)	5月11日(土) ～ 3月7日(土)	延べ 291
2) 昼間の星をみる会(計19回※)	4月14日(日) ～ 3月22日(日)	延べ 437
3) 部分日食をみる会	12月26日(木)	延べ 28
【活用(館内連携事業)】 名古屋市環境局との共催 星空継続観察	8月25日(日)	延べ 21
【活用(館外連携事業)】 (公財)名古屋市民休暇村管理公社との共催等		-
1) おんたけ天文教室	平成29年6月 26日の地震の影響で中止	-
2) おんたけ休暇村 夏の観望会		-
3) おんたけ子ども村スターウォッチング	9月21日(土) ～ 9月23日(月祝)	2
【研修等】 各天文事業の勉強会など	合計28日	延べ 136

※令和2年2月29日からの休館に伴い、一部を中止した。

②ものづくりボランティア 登録者数：146人

事業名及び内容	開催期間	参加ボランティア (人) ()内は参加者数
【養成】 ものづくりボランティア養成講座 ものづくり工房をはじめとして、各種事業において、実験工作などの学習支援者となるボランティアの養成(講座7回)で、参加資格は18歳以上。受講修了者のうち希望する者はものづくりボランティアとして登録	11月30日(土) ～ 2月1日(土)	20

事業名及び内容	開催期間	参加ボランティア (人) ()内は参加者数
【活用（館内事業）】 館の事業（ものづくり工房・ものづくり教室）の学習支援者として活動 （注）詳細は、別掲の「名古屋少年少女発明クラブ」の項に掲載	合計 45 回 4 月～2 月	176 (3, 637)
1) ものづくり工房 毎週土曜日（夏・冬・春休みを除く）	合計 35 回 4 月～2 月	137 (3, 384)
2) ものづくり教室 第3土曜日（8・3月を除く）	合計 10 回 4 月～2 月	39 (253)
【活用（館外連携事業）】 生涯学習施設、類似施設及び小中学校との連携事業の学習支援者として活動	合計 42 回 6 月～2 月	237 (3, 605)
1) 生涯学習センターとの連携	合計 6 回	30 (167) 内訳
①千種生涯学習センター「親子でチャレンジ！科学工作」	6月8日(土)	5 (30)
②中川生涯学習センター「チャレンジ！科学工作！」	9月8日(日)	5 (13)
③熱田生涯学習センター「親子科学工作教室」	11月23日(土祝)	5 (22)
④中村生涯学習センター「親子科学工作教室」	12月22日(日)	5 (30)
⑤東生涯学習センター「親子科学工作教室」	2月8日(土)	5 (34)
⑥南生涯学習センター「親子で楽しむサイエンス」	2月9日(日)	5 (38)
2) 類似施設との連携	合計 3 回	19 (350) 内訳
① とだがわこどもランド「科学工作教室」	7月15日(月祝)	5 (50)
② 東邦ガス ガスエネルギー館「エコ教室」	8月18日(日)	5 (40)
③ とよたわくわくワールド「ものづくりフェスタ」	11月3日(日)	9 (260)
3) 出前ものづくり工房（出前ミュージアム）	合計 29 回 6 月～2 月	172 (2, 801)
（注）詳細は、別掲の「出前ミュージアム」の項に掲載		
4) 出前ものづくり教室（名古屋少年少女発明クラブ）	合計 4 回 2 月	16 (287)
（注）詳細は、別掲の「名古屋少年少女発明クラブ」の項に掲載		
【自主企画事業（ものづくりひろば）】 ものづくりボランティアの自主企画事業として、休日・祝日・小中学校の長期休業期間等の来館者を対象に実施。同時にボランティアの研修の場ともしている。	合計 33 回 4 月～2 月	263 (2, 841)

事業名及び内容	開催期間	参加ボランティア (人) ()内は参加者数
【研修等】		
総会（定例会①）	4月6日（土）	106
定例会②	9月7日（土）	100
定例会③	2月1日（土）	101

③展示室ボランティア 登録者数：260人

事業名及び内容	開催期間	参加ボランティア (人)
【養成】 展示室ボランティア養成講座 常設展示等の説明・安全指導等を行うボランティアの養成（講座5回）で、参加資格は18歳以上。受講修了者のうち希望する者は展示室ボランティアとして登録	1月18日（土） ～ 2月22日（土）	19
【活用】 1) 展示フロアでの活動 常設展示等の説明、常設展示等の利用にあたっての安全指導、常設展示等の運営の補助業務に活用	4月1日（月） ～ 2月28日（金）	延べ 3,939
2) ワゴン実演 サイエンスショー待ち時間などを利用して、磁石や偏光板を使いマジックショー仕立てでの説明	4月6日（土） ～ 2月29日（土） ※	延べ 36
3) タッチ&トーク 地質系の実物標本（化石・岩石など）を来館者に解説しながら観察、触れてもらう機会を提供	4月6日（土） ～ 3月7日（土）※	延べ 91
4) ウッディ・プレイランド 理工館2階ウッディ・プレイランドで、玩具の遊び方の伝授	4月6日（土） ～ 2月23日（日）	延べ 39
【研修等】		
総会	4月13日（土）	107
フォローアップ研修 第1～5回	4月～2月	延べ 403
ワゴン実演自主研修（2箇月に1回程度）	4月～2月	25
タッチ&トーク自主研修（月に1回程度）	4月～2月	16
ウッディ・プレイランド自主研修（2箇月に1回程度）	4月～2月	32

※令和2年2月29日からの休館に伴い、一部を中止した。

④B6蒸気機関車整備ボランティア 登録者数：18人

屋外展示のB6型蒸気機関車の調査及び整備を行う。令和元年度は実績なし。

(7) 科学館友の会

昭和 38 年 4 月に発足した「名古屋星の会」と昭和 41 年 7 月に発足した「科学館友の会」を前身とする。昭和 53 年 4 月からは科学館振興協会の一部会として運営されていたが、平成 16 年 3 月の科学館振興協会の解散に伴い、平成 16 年 4 月から（公財）中部科学技術センターの協力のもとに運営されている。

① 天文クラブ

会員数 1,028 人（一般クラス） 会費 4,000 円

(例会)

区分	一般クラス(高校生以上)
例会	年 6 回木・金曜日（計 12 回実施） 18：30～20：00
1	月の楽しみ方
2	惑星の生まれる現場
3	宇宙をはかる
4	遅い探査機、速い探査機
5	宇宙を旅する光
6	ホーキングの宇宙を語る※

※令和 2 年 2 月 29 日からの休館に伴い中止した。

(特別行事)

内 容	開催期日	参加者数(人)
おんたけ天文教室〈名古屋市民おんたけ休暇村〉	地震の影響で中止	—
特別天体観望会 土星 午後 8 時～9 時	8 月 9 日(金)	157
オリオン星雲 午後 7 時～8 時	2 月 13 日(木)	86

(出版物) 機関誌「？」No. 206～211 発行

②サイエンスクラブ

会員数 448 人（小学生クラス：320 人 会費 7,000 円、中学生クラス：128 人 会費 8,000 円）

(例会)

区分	小学生クラス(小学 5・6 年生)	中学生クラス
例会	年 6 回 土・日曜日	年 6 回 土・日曜日
	A～C 10：00～12：40（計 30 回実施）	A～C 10：00～12：40（計 12 回実施）
	D、E 9：55～10：50（計 2 回実施）	D、E 9：55～10：50（計 2 回実施）
	S 13：30～15：30（全クラス対象）	S 13：30～15：30（全クラス対象）
A	導通テスターをつくろう	染〈SOME〉の世界
B	チリメンからみる多様性	化学の力で写真をつくろう
C	電気パンケーキを焼こう	見え方の変わる絵をつくろう
D	星座をみつけよう	月世界へようこそ
E	宇宙へ飛び出そう！	星の一生とブラックホール
S	サイエンススペシャル※	サイエンススペシャル※

※令和 2 年 2 月 29 日からの休館に伴い中止した。

(夜間観望会)

内 容	開催期日	参加者数(人)
土星 午後 7 時 30 分～9 時	8 月 31 日(土)	364 (保護者含む)
月 午後 6 時 45 分～8 時 15 分	11 月 10 日(日)	597 (保護者含む)

(8) 名古屋少年少女発明クラブとの連携事業

平成 14 年度から 18 年度までの「発明発見創造クラブ」を、全国的な広がりをもつ「少年少女発明クラブ」に移行したものである。平成 19 年 3 月に設立された「名古屋少年少女発明クラブ」の主催者は名古屋市と一般社団法人愛知県発明協会で、事務局は名古屋市市民経済局産業部次世代産業振興課が担当している。

主に小中学生を対象にし、科学技術やものづくりに関心をもつ人材の育成を目的として、ものづくり体験事業を実施している。科学館では「ものづくり工房・教室」、「地球工房・教室」、「ロボット工房・教室」を実施している。また、「ロボカップジュニアなごや大会・なごやオープン」「ロボカップジュニア東海大会」の主催をしている。

①「ものづくりコース」

ものづくりの楽しさや、科学への興味、関心を高める。来館した小中学生を対象に、身近な素材を利用して簡単な科学工作を行う。ものづくりボランティアが学習支援を行い、ものづくりの大切さを知らせる。

1)ものづくり工房 (土曜日・無料)

月	工 作 内 容	日 数	参加者数(人)	月	工 作 内 容	日 数	参加者数(人)
4	おどるスネイク	4	392	11	ちぢむ箱	5	370
5	水の花～ペーパークロマトグラフィー～	4	490	12	かんたんゾートロープ	2	106
6	ピーふわボール	5	514	1	空気ピストル	3	338
7	ブーメランちょうちょ	3	315	2	バードグライダー	4	377
9	紙コプター	4	383	3	ちょこんと風車	-※	-※
10	パラシュートゴースト	1	99	計		35	3,384

【参考】 平成 30 年度開催日数 40 日
平成 30 年度参加者数 3,672 人

※令和 2 年 2 月 29 日からの休館に伴い中止した。

2)ものづくり教室 (第 3 土曜日等・有料)

開催期日	工 作 内 容	参加者数(人)	開催期日	工 作 内 容	参加者数(人)
4 月 20 日	ビリビリ UFO	34	11 月 16 日	水陸両用自動車	21
5 月 18 日		32	12 月 21 日		20
6 月 15 日	よちよち EV カー	27	1 月 18 日	ダ・ヴィンチの橋	13
7 月 20 日		33	2 月 15 日		14
9 月 21 日	ソーマキューブ	28	計		253
10 月 19 日		31			

3)出前ものづくり教室

小中学校及び関係団体等との連携事業

場 所 及 び 内 容		開催期日	参加者数 (人)
①野田小学校 3 年生	「ばたばたチョウ」	2 月 13 日	287
②天白養護学校 5 年生	「ばたばたチョウ」	2 月 19 日	
天白養護学校 6 年生	「ばたばたチョウ」		
③千代田橋小学校 3 年生	「ばたばたチョウ」	2 月 20 日	
④稲生小学校 3 年生	「ばたばたチョウ」	2 月 27 日	

②「ロボットコース」

これからのものづくりに求められるソフトウェアに強い人材を育成する。ロボットの機械の動きを制御するプログラミング能力を高める。

1) ロボット工房 (毎月第1・第3日曜日・無料) ※参加者数は見学者を含まない

月	開催日数	参加者数(人)	月	開催日数	参加者数(人)
4	2	57	10	2	80
5	1	19	11	1	29
6	2	70	12	2	62
7	2	61	1	1	38
8	1	31	2	2	65
9	2	77	3	-※	-※
			計	18	589

【参考】 平成30年度開催日数 19日

平成30年度参加者数 587人

※令和2年2月29からの休館に伴い中止した。

2) ロボット教室

- ・開催期日 毎月第3日曜日(3月は第2日曜日)と8月6日(火)・7日(水)
- ・対象 小学校4年～中学生
- ・内容 ロボットの組み立て(初級者向け)
- ・参加費 17,000円

開催期日	参加者数(人)	開催期日	参加者数(人)
4月21日	6	11月17日	8
5月19日	8	12月15日	7
6月16日	9	1月19日	7
7月21日	5	2月16日	7
8月6・7日連続	19	3月	-※
		計	76

【参考】 平成30年度開催日数 11日

平成30年度参加者数 88人

※令和2年2月29からの休館に伴い、次年度に延期した。

3) 発展型コロボ教室・ロボットステップアップ講座

- ・対象 : 小学校4年～高校生
- ・内容 : ロボットの組み立てとプログラミング(中級者向け)
- ・参加費 : 無料

月	開催日数	参加者数(人)	月	開催日数	参加者数(人)
4	3	45	10	2	54
5	3	58	11	1	26
6	3	53	12	2	50
7	2	43	1	1	25
8	1	24	2	2	56
9	2	52	3	-※	-※
			計	22	486

【参考】 平成30年度開催日数 22日

平成30年度参加者数 328人

※令和2年2月29からの休館に伴い中止した。

4) ロボカップジュニア大会

○ ロボカップジュニア・ジャパンオープン 2019 和歌山

- ・開催期日 4月28日(日)・29日(月祝)
- ・会場 和歌山ビッグホエール
- ・内容 競技種目はサッカー・レスキュー・OnStage・CoSpaceの4種目。
当館チームはサッカーに出場。
- ・当館からの参加者数
Nippon リーグビギナーズ 5チーム (10人)
World リーグライトウェイト 2チーム (4人)
World リーグオープン 1チーム (2人)

○ ロボカップジュニア名古屋ノード大会 Nippon リーグビギナーズアドバンストリーグ

- ・開催期日 10月26日(土)
- ・会場 名古屋市科学館 イベントホール
- ・参加者数 小学4年～高校生(サッカーロボット経験者対象) 52人

※上位7チームが東海ブロック大会出場

○ ロボカップジュニア名古屋ノード大会 Nippon リーグビギナーズルーキーリーグ

- ・開催期日 10月27日(日)
- ・会場 名古屋市科学館 イベントホール
- ・参加者数 小学4年～中学生(サッカーロボット初心者対象。名古屋市科学館のロボット教室参加者や、名古屋少年少女発明クラブで支援している市内小中学校からも参加。) 40人

※上位3チームが東海ブロック大会出場

○ ロボカップジュニア名古屋ノード大会 World リーグオープン

- ・開催期日 10月26日(土)
- ・会場 名古屋市科学館 イベントホール
- ・参加者数 令和元年7月1日で19才以下対象 4人

※上位2チームが東海ブロック大会出場

○ ロボカップジュニア名古屋ノード大会 World リーグライトウェイト

- ・開催期日 10月27日(日)
- ・会場 名古屋市科学館 イベントホール
- ・参加者数 令和元年7月1日で19才以下対象 26人

※上位6チームが東海ブロック大会出場

○ ロボカップジュニア東海ブロック大会

- ・開催期日 12月7日(土)
- ・会場 愛知工業大学名電高等学校 淳和記念館
- ・内容 地区大会(名古屋大会始め6地区)から選抜されたチームが対戦し、日本大会選抜者を決定する。競技種目はサッカー・レスキュー・OnStageの3種目。
- ・参加者数
サッカー 30チーム (65人)
レスキュー 26チーム (46人)
OnStage 6チーム (19人)

③「地球コース」

鉱物や化石などを使ったものづくりを通して、観察することの楽しさや地球への関心を高める。
地球工房（毎週土・日曜日、祝日・有料）

月	開催日数	参加者数(人)	月	開催日数	参加者数(人)
4	10	607	10	4(※1)	190
5	6	394	11	4	123
6	8	498	12	4	176
7	7	527	1	9	610
8	11	874	2	6	291
9	7	526	3	- (※2)	- (※2)
			計	76	4,816

【参考】 平成30年度開催日数 94日 平成30年度参加者数 6,679人

※1 令和元年10月12日の台風の影響により、1日中止した。

※2 令和2年2月29日からの休館に伴い中止した。

(9) コンクール事業

事業名及び内容	募集期間	展示期間	区分	参加資格	応募数 (顕彰数)
令和元年度 科学創作コンクール ①「科学の夢を描く部門」 (B3判 画用紙) ②「科学工作部門」 (科学的な考えを生かして 作った作品) ③「理科自由研究部門」 小3・4、小5、小6、中 1、中2、中3の6部門に 分け、観察や実験による理 科の自由研究レポートを 募集 以上3部門に分けて創作作品 を募集 ・応募作品の中から、優秀な作 品を顕彰し館内で展示 ・中日新聞社、(公財)中部科学 技術センター共催	8月30日(金) ~ 9月6日(金)	10月9日(水) ~ 10月13日(日) 表彰式 10月12日(土) (台風により 中止)	絵画 部門	幼児 (3歳以上) 小・中学生 (個人)	158点 (30点)
			工作 部門	小・中学生、 高校生 (個人又はグ ループ)	74点 (22点)
			自由研究 部門 小3・4年	小学3年 ~中学生 (個人)	77点
			小5年		66点
			小6年		101点
			中1年		552点
			中2年		229点
			中3年		88点
計	1,113点 (48点)				
第63回 日本学生科学賞愛知県展 ・観察や実験による理科の自由 研究のレポートを募集 ・応募作品の中から、優秀な作 品を顕彰し館内で展示 ・読売新聞社共催	10月11日(金)	10月22日(火) ~10月26日(土) 表彰式 10月26日(土) (参加者51人)	物理 ----- 化学 ----- 生物 ----- 地学 ----- 一般	中・高校生 (個人、又は グループ)	65点 (12点)

(10) 博物館実習生の受入れ

博物館法施行規則で定められた「博物館実習」を以下のように実施した。

趣 旨	生涯学習の場である科学館の役割を理解し、生涯学習の手法について学び、学芸員としての知識・技能・態度を身につける
実 習 期 間	7月27日(土)~8月4日(日) 合計8日間(7月29日(月)を除く)
実 習 生	日本大学 1 名城大学 1 愛知教育大学 1 京都先端科学大学 1 岐阜大学 1 京都大学大学院 1 合計 6人
実 習 内 容	名古屋科学館及び常設展示、館内・事業見学、各種教育普及活動見学及び補助、ボランティア、実演と説明業務、展示品の保守、天文の事業とプラネタリウム など

(11) 職場体験学習・職場訪問学習など

①職場体験学習・職場訪問学習

総合的な学習や社会体験学習の一環として行われる職場体験学習・職場訪問学習を、各学校の依頼に対応して実施している。職場体験学習では、館内の接客業務や実演の準備、展示品の保守管理、資料の整理などの体験活動を行っている。また、職場訪問学習では、館の概要や館内の業務についての講義や質疑応答を行っている。

区 分	職場体験	職場訪問
小学校	—	—
中学校	10校 30人	7校 118人
高等学校	—	1校 1人
教 員	11校 11人	—

②大学からのインターンシップ受入

名古屋大学 博士課程大学院生(1名)

期間：9月9日～11月24日のうちの15日間

テーマ：「科学館の企画・展示・運営業務」

愛知教育大学 学部生(2名)

期間：9月26日～10月8日のうちの4日間

実習科目「学校・自治体インターンシップ」

5 調査研究

(テーマ1) 現代建築物に用いられた石材の調査

現代及び近代建築物に用いられた石材種について調査し、入手できた試料をもとに岩石学的特徴を把握した。そのうえで、名古屋市及び豊田市などの現代建築に使われている石材種を調べたところ、建築年代によって使われている石材に流行があることも推測できることがわかった。豊田市における調査成果は、とよた科学体験館で開催された企画展「豊田で見つかるすごい石」に協力するかたちで公表した。また、明治村に保存されている近代建築についても調査したところ、それぞれの地域で流通している石材であることが判明し、その成果を日本地質学会で発表した。

(テーマ2) 情報科学に関する展示の調査

現代の生活は、情報科学・技術で成り立っていると言っても過言ではなく、当館の情報科学の常設展示も今後充実させていく必要がある。しかし情報科学の分野は非常に広く、何をどのように展示化するのは慎重に吟味しなければならない。このような背景から、情報科学に関する展示を展開する各地の科学館の調査を行った。

この過程において、理化学研究所がそのスーパーコンピューターを「京」から「富岳」へ更新するにあたり、「京」の筐体を解説展示目的に科学館等に対して譲渡の公募を行っているという情報を得た。これに対して申込みを行い譲渡を受け、常設展示化することができた。

現在「京」の常設展示は、展示面積が限られていることもあり、「京」の能力をより詳細にわかりやすく展示展開する余地があると考えられる。今後はこれについても検討を行っていきたい。

(テーマ3) デジタル式プラネタリウムの現状調査

名古屋市科学館のプラネタリウムは2011年3月にリニューアルした。令和2年度には10年を迎え、デジタル式プラネタリウムの大規模更新を行うことになる。そこで2年間継続して最新のデジタル機器を実地調査し、更新の設計を進める。

平成30年度に引き続き、令和元年度も最新の高解像度プロジェクターが設置された施設を訪問し、設置からの経年変化やトラブルの有無など安定性の調査を行った。調査先は、高松市こども未来館、倉敷科学センター、大阪市立科学館、ニューヨークのハイデンプラネタリウム、ジュニファチャルステープラネタリウムである。調査結果を元に、デジタル機器の設計を進めている。

6 印刷物の発行

名 称	内 容	発行部数	主な配布先
アサラスコープ No. 422～424	科学館広報誌 No. 422, 424 A 4 版 8 頁 No. 423 A 4 版 4 頁	70,000	別 掲
名古屋市科学館要覧 (令和元年度)	A 4 版 76 頁	80	科学館ホームページにてPDFデータで公開(平成24年度～)
名古屋市科学館紀要 第46号	調査研究の報告 他 A 4 版 49 頁	200	国内博物館施設 市内生涯学習施設 関係大学図書館等

「アサラスコープ」の主な配布先(配布場所)

市立小学校、16区役所・6支所、市立図書館、市生涯学習センター、市民情報センター 等

7 広報活動

種 別	内 容	実施時期	備 考
名古屋市による広報	名古屋市発行の「広報なごや」に館行事を掲載し、市民への周知に努めた	毎月	市内全戸配布 約100万部
マスコミへの広報	1) 市がもつテレビ・ラジオ番組に、資料を提供し、また、番組にも出演した	随時	新聞社 4社 放送 8社 通信 2社
	2) 名古屋市政記者クラブを通して、広くPRを行った	随時	を始め出版、タウン情報誌など約120社
ポ ス タ ー	特別展について、地下鉄、私鉄、市広報板に掲出し、また、市内の学校などに送付した	随時	区役所、生涯学習センターなどの市民利用施設及び関係機関 約650か所
アサラスコープ	科学に関する解説や、館の行事予定などをまとめて配布した	年3回	(No. 422) 25,000部 (No. 423) 20,000部 (No. 424) 25,000部
案内パンフレット・チラシ	行事ごとにパンフレット及びチラシを作成した(見学ガイド、7カ国語リーフレットほか)	随時	
他施設等の広報誌による広報	他施設の広報紙に資料提供し、広く市民に周知を図った(観光ガイドほか)	随時	
ダイレクトメール	県内及び県外の小・中学校、観光旅行者にパンフレットを送付した	随時	
ホームページ	ホームページによる館の情報提供や行事案内を行った	随時	

8 他施設との交流

(1) 国内活動

同種施設との情報交換のほか、下記の協会及び協議会等に加え、関係会議、研究会に職員を派遣したほか、関係資料の収集に努めた。

- 全国科学博物館協議会
- 全国科学館連携協議会
- 指定都市科学館連絡会議
- 東海地区博物館連絡協議会
- 愛知県博物館協会
- 日本プラネタリウム協議会
- 天文教育普及研究会
- 日本天文学会
- 東亜天文学会

(2) 国際活動

下記の国際組織に加え・参加し、積極的に海外博物館資料の収集・情報交換に努めた。

- 国際プラネタリウム協会 I P S

- 第 25 回 ICOM (国際博物館会議) 京都大会 2019

ICOM の大会が日本で初めて開催され、3 名の学芸員が参加した。

また、CIMUSET (科学技術の博物館・コレクション国際委員会) のオフサイトミーティングを当館で受け入れ、国内外の科学館関係者 43 名が参加した。

(3) 視察受入れ

科学館の広報・誘致、科学館の展示・事業の企画、博物館施設等の整備・運営方法の検討等を目的とした、複数の国内外の視察者 (博物館施設職員、他都市職員・議員等) を受け入れた。

(4) 芸術と科学の杜

白川公園一帯を「芸術と科学の杜」と位置づけ、地元町内会・商店街、専門学校、文化施設、名古屋市美術館と連携してさまざまな魅力ある事業の展開をした。

【元年度の主な取り組み】

5 月 16 日 (木)・17 日 (金)

- 買いにおいでデー

通常一般の方は入店できない有名デパート・小売店への「卸問屋」にて買い物ができる 2 日間。

芸術と科学の杜事業の周知を図るため、訪れる方に地域の公共施設に関するクイズゲームを実施。

参加者数：500 人

8 月 17 日 (土)・18 日 (日)

- 広小路夏祭り

山車や音楽パレード、阿波踊りなど楽しいイベントでの夏まつりが盛り上がる、毎年 2 日間で 50 万人以上が集まる名古屋の夏の一大イベント。折り紙・ぬり絵の参加者に施設のグッズ等をプレゼントし、芸術と科学の杜の公共施設と触れ合う機会を提供。

- 参加者数：800人
- 9月 ○ 芸術と科学の杜 探索マップ制作（50,000部）
 地元商店街と連携して作成し、近隣エリアに配布した。マップには名古屋コミュニケーションアート専門学校の協力を得て制作されたキャラクターを使用した。
 飲食店以外にも事業所・まちなかアート作品・地域歴史情報も掲載。
- 11月1日(金) 18:30～20:00 ○ 科学館プラネタリウム特別投影会 参加者数 262人
 地元町内会を対象にプラネタリウム特別投影「QUEEN-HEAVEN-」のゲネプロを公開
- 11月2日(土)・3日(日・祝) 10:00～21:00 サイエンス&アートフェスティバル
- アート大会 市美術館が企画・実施 参加者数 のべ 1,320人
 白川公園を会場として家族で楽しめるイベント（対象：来館者）
 ・「アートを科学し、科学をアートするツアー」
- 杜の駅@科学館 参加者数 のべ 11,193人
 ・杜のステージ（バンド演奏・大道芸ほか）
 ・出店ブース（周辺の商店街・専門学校などがブースを出店）
- まち歩きイベント 参加者数 のべ 821人
 ・「芸科の杜の撮影スポットをさがせ！」

○エコパルなごや出張ワークショップ

開催日	参加者数(人)	開催日	参加者数(人)
7月28日(日)	322	11月24日(日)	217
9月22日(日)	292	12月22日(日)	614
10月27日(日)	227		
		計	1,672

(5) 研究機関等との相互協定等

- 平成23年4月1日 大学共同利用機関法人情報・システム研究機構国立極地研究所との相互協力に関する協定
- 平成24年3月19日 名古屋大学理学部との相互協力に関する協定
- 平成24年5月1日 名古屋大学情報文化学部との相互協力に関する協定
 (平成29年6月1日 名古屋大学情報学部及び名古屋大学大学院情報学研究科に名称変更)
- 平成24年7月18日 独立行政法人宇宙航空研究開発機構との相互協力に関する協定
- 平成25年3月26日 名古屋大学博物館との相互協力に関する協定
- 平成25年9月29日 中京大学人工知能高等研究所との相互協力に関する協定
- 平成28年3月29日 名古屋市立大学との連携協力に関する覚書
- 令和2年1月22日 愛知教育大学との相互連携に関する協定

(6) 3館コラボ企画 伏見サイエンスエリアにいこう！

伏見駅近辺にある名古屋市科学館、環境学習センターエコパルなごや、でんきの科学館とで、共同でサイエンスショーを制作し実演を行い、ワークショップを実施した。

2月15日(土)、16日(日)

【名古屋市科学館会場】

○サイエンスショー『天才シェフとおかしなオバケのサイエンスキッチン』

でんきの科学館と名古屋市科学館のスタッフがシェフとオバケになって行う実験ショー。

参加者数 520 人

【でんきの科学館会場】

○サイエンスショー『びっくりおもしろ実験ショー』

でんきの科学館と名古屋市科学館のスタッフがキッチンにあるものを使って行う実験ショー。

参加者数 370 人

○ワークショップ『ペーパービーズを使ったブレスレット作り』

参加者数 1,008 人

★キャラクターコラボ

3館のマスコットキャラクター（スーパーおうむくん、シャチのジュンちゃん、アサラ）が、2月15日（土）は名古屋市科学館で、16日（日）はでんきの科学館で見学者にグリーティングを行った。

(7) 出張サイエンスショー

5月2日(木祝)

GW企画ヒルズサイエンスウィーク サイエンスショーメドレー

会場：サイエンスヒルズこまつ ひとつものづくり科学館

演示者：山田 吉孝、山田 厚輔

演目：サイエンスショッピング

参加者数：60 人

10月26日(土)

2019年度全国科学館連携協議会中四国ブロック会議

会場：防府市青少年科学ソラール

演示者：山田 厚輔、鈴木 恵利

演目：サイエンスショッピング

参加人数：230 人(一般来館者及び会議参加者)

1月13日(月祝)

スペシャルサイエンスショー

会場：東芝未来科学館

演示者：山田 吉孝、渡辺 奈美子

演目：お祭り屋台サイエンス

参加者数：318 人

2月16日(日)

第27回日立サイエンスショーフェスティバル

会場：日立シビックセンター多用途ホール・科学館

演示者：山田 厚輔、金子 晴菜

演目：ハルちゃん☆サーカス団

参加者数：310人(一般観覧者及び研修参加者)

9 高校生科学力向上促進事業

(1) 高校生ものづくり実践事業

公募で選ばれた高校生が、大学のセミナー、企業による研修などに参加しながら、水素のエネルギー利用に関する発展的な学習を通して、次世代の地域の産業を支える人材を育成する目的で実施した。

- 主催：名古屋市科学館、公益財団法人中部科学技術センター
 - 共催：名古屋工業大学先進生産技術研究センター、中日新聞社
 - 参加校 名古屋市立菊里高等学校、名古屋市立向陽高等学校 11人
- | | |
|--------------------|---------------------|
| 7月 23日(火)～25日(木) | 実験セミナー 11人 |
| 7月 30日(火)～8月 1日(木) | 調査研修旅行(山梨大学その他) 9人 |
| 8月 6日(火) | 名工大オープンキャンパス参加 1人 |
| 8月 13日(火)～16日(金) | 実験セミナー 10人 |
| 8月 21日(水)・22日(木) | 調査研修旅行(県内発電所3か所) 9人 |
| 9月 7日(土) | 実験セミナー 3人(向陽高校) |
| 9月 22日(日) | 実験セミナー 6人(菊里高校) |
| 11月 2日(土)・3日(日) | 実験セミナー 10人(菊里・向陽高校) |
| 12月 14日(土) | 名工大川崎晋司研究室見学 11人 |
| 12月 23日(月)～25日(水) | 調査研修旅行(九州工業大学) 5人 |
| 12月 25日(水) | 調査研修(豊田通商) 7人 |

※3月15日(日)に予定していた研究発表会は、中止した。

(2) 高校生による科学の祭典2019 ※令和2年2月29日からの休館に伴い中止

名古屋市内の公立高等学校の高校生たちが日ごろの研究成果を持ち寄り、来館者に発表する。

日時：3月1日(日)

(3) 高校生のための科学の日 ※令和2年2月29日からの休館に伴い中止

高校生が一日無料でプラネタリウムや常設展示室を楽しむ。

日時：3月1日(日)

10 その他

(1) B6型蒸気機関車の動態展示に向けた調査等

B6型蒸気機関車の展示活用手法等に関する調査などを実施した。

(2) ノーベル賞受賞者顕彰施設の整備

愛知・名古屋ゆかりのノーベル賞受賞者の業績などを分かりやすく伝える施設の整備について、サイエンスホールの改修及び展示コンテンツの制作を愛知県と共同で実施した。

11 研修・講座等

- 名古屋市立大学『総合博物学』講義 受講登録者 30人
 - 4月19日(金) (名市大) 毛利勝廣 (天文教育におけるプラネタリウム)
 - 4月26日(金) (科学館) 毛利勝廣 (天文教育におけるプラネタリウム・科学館実習)
 - 5月10日(金) (名市大) 山田吉孝 (サイエンスショーの制作と実践)
 - 5月17日(金) (名市大) 西本昌司 (岩石から読み解く地球の歴史)
 - 5月24日(金) (名市大) 馬淵浩一 (科学館における産業人材育成プログラム)
 - 5月31日(金) (名市大) 堀内智子 (自分のからだを使って「科学」を体験する)

- 東海中学校見学会 特別展「血液ツアーズ『人体大解明の旅』」と生命館4階「人体のふしぎ」講演と特別展・展示室見学、プラネタリウム観覧
 - 期 日 4月24日(水) 参加者数 380人(生徒360人、教員20人)
※2回に分けて実施
 - 講 師 堀内 智子、中島 亜紗美
 - 会 場 サイエンスホール、プラネタリウム

- 名古屋市理科教育研究会(講演会)
 - 期 日 5月11日(土) 参加者数 124人
 - 講 師 野田 学、立松 健一(国立天文台野辺山宇宙電波観測所)
 - 会 場 サイエンスホール

- 名古屋市理科研究会(講演会)
 - 期 日 5月14日(火) 参加者数 37人
 - 講 師 堀内 智子
 - 会 場 学習室

- 東図書館・名古屋市科学館連携講座 サイエンス講座「発見!からだのふしぎ」
 - 期 日 5月18日(土) 参加者数 31人
(大人13人、小学生13人、未就学児5人)
 - 講 師 堀内 智子
 - 会 場 東図書館

※東図書館で特別展「血液ツアーズ『人体大解明の旅』」関連の図書等展示も実施(4月20日(土)～5月26日(日))

○ 名古屋芸術大学博物館情報・メディア論講座

期 日 6月1日(土) 参加者数 40人
講 師 鈴木 雅夫
会 場 学習室

○ 名古屋市立向陽高等学校連携事業(国際科学科 名古屋市科学館研修)

期 日 6月7日(金) 参加者数 43人
講 師 山田 厚輔、堀内 智子、西本 昌司、小塩 哲朗、毛利 勝廣
会 場 第1実験室、プラネタリウム

○ 名古屋市立向陽高等学校連携事業(普通科 名古屋市科学館研修)

期 日 6月19日(水) 参加者数 331人
講 師 馬淵 浩一、持田 大作
会 場 サイエンスホール、プラネタリウム

○ おんたけ休暇村キャンプカウンセラー研修

期 日 6月22日(土) 参加者数 53人
講 師 毛利 勝廣
会 場 プラネタリウム

○ 名古屋市生活科・総合的な学習教育研究会(講演会)

期 日 6月26日(水) 参加者数 58人
講 師 加藤 哲生、金津 琢哉(東海学園大学)
会 場 サイエンスホール

○ 鶴舞中央図書館「絶滅どうぶつけんきゅうじょ」講演会

期 日 7月30日(火) 参加者数 40人
講 師 柏木 晴香
会 場 鶴舞中央図書館

○ 名古屋市小中学校生産・文化的部活動指導者研修会「科学」の部

期 日 8月22日(木) 参加者数 32人
講 師 山田 吉孝
会 場 第2実験室

- 科学技術振興機構（JST）日本・アジア青少年サイエンス交流事業さくらサイエンスプラン
の実施協力（国家公務員共催組合連合会名城病院 関係者及び招待者）
 - 期 日 9月5日（木） 参加者数 6人
 - 講 師 堀内 智子
 - 会 場 特別展と展示室

- 名古屋市立大学特別講座
 - 期 日 10月11日（金） 参加者数 48人
 - 講 師 毛利 勝廣
 - 会 場 プラネタリウム、天文台

- 愛知学泉大学博物館学研修
 - 期 日 10月17日（木） 参加者数 4人（学生3人 教官1人）
 - 講 師 鈴木 雅夫
 - 会 場 多目的室

- 愛知県高等学校文化連盟 自然科学専門部 講習会〈名古屋市科学館 昼の観望会〉
 - 期 日 10月27日（日） 参加者数 17人（生徒13人 教員4人）
 - 講 師 持田 大作
 - 会 場 学習室、プラネタリウム、天文台

- 小牧市「宇宙の学校」
 - 期 日 11月3日（日） 参加者数 74人
 - 講 師 持田 大作
 - 会 場 プラネタリウム

- あいちサイエンスフェスティバル サイエンストーク 図書館サイエンス夜話
 - 期 日 11月14日（木） 参加者数 47人
 - 講 師 柏木 晴香
 - 会 場 鶴舞中央図書館

- 科学技術振興機構（JST）さくらサイエンス交流会（三重大学 ホーチミン師範大学）
 - 期 日 11月24日（日） 参加者数 13人
 - 講 師 山田 厚輔
 - 会 場 多目的室、展示室

- 名古屋大学「教育方法学講義」施設見学講座
 - 期 日 11月26日（火） 参加者数 24人（学生22人 教官2人）
 - 講 師 鈴木 雅夫
 - 会 場 多目的室

○ 愛知淑徳中学校特別講座

期 日 1月10日(金) 参加者数 293人
講 師 持田 大作
会 場 プラネタリウム

○ 金城学院中学校特別講座

期 日 1月9日(木) 参加者数 345人
講 師 持田 大作
会 場 プラネタリウム、天文台

○ 愛知教育大学「理科研究」校外学習

期 日 1月22日(水) 参加者数 140人
講 師 野田 学
会 場 プラネタリウム

○ 南山中学校女子部特別講座

期 日 2月5日(水) 参加者数 211人
講 師 中島 亜紗美
会 場 プラネタリウム

1 2 情報収集保存活動

(1) 情報資料室

科学に関する最新の資料の収集に努め、来館者の自発的な学習を支援するため、図書・雑誌・コンピュータソフト・映像資料などの資料を室内自由閲覧・自由使用に供した。

情報資料室データ

備 品	ソ フ ト	図 書 類
パソコン 6 台	ビデオソフト 1,123 本	図書 約 7,870 冊
インターネット用(5 台)	VHS (876 本)	雑誌 22 種
事務・調査用 (1 台)	DVD (247 本)	月刊誌 (10 種)
ビデオデッキ 4 台	CD-ROM 218 本	研究機関誌 (12 種)
VHS再生専用 (2 台)		新聞 1 紙
DVD・VHS複合機 (2 台)		全国科学館・博物館等資料 2,910 冊

(2) インターネット

名古屋市科学館では、平成7年度から館内コンピュータネットワークの整備と、そのインターネットへの接続を行い、各種情報の取得などに利用している。また同時に当館ウェブサイト (<http://www.ncsm.city.nagoya.jp/>) の公開も開始した。

平成23年3月19日の新館開館にあわせて、ウェブサイトの全面的な更新を行った。また、各フロア1台、計10台の情報検索端末を導入した。これらはタッチパネルのみで操作でき、日本語及び英語による展示解説の閲覧や展示品の検索ができる。また、ブラウザ機能を利用しているので当館ウェブページやその他のサイトの閲覧も可能である。

ウェブサイトアクセス件数と、情報検索端末アクセス件数は下表のとおりである。

(令和元年度)

月	ウェブサイト アクセス件数	情報検索端末 アクセス件数	月	ウェブサイト アクセス件数	情報検索端末 アクセス件数
4	329,521	1,049	10	334,016	4,810
5	325,332	3,605	11	305,027	3,855
6	302,055	2,691	12	378,678	4,318
7	406,829	6,036	1	398,777	5,019
8	534,583	9,249	2	328,773	4,012
9	357,404	4,509	3	235,207	0※
			計	4,236,202	49,153

※令和2年2月29日からの休館に伴い、情報検索端末の利用を休止した。

13 令和元年度入館者状況

(1) 月別利用状況 (個人・団体別)

(単位:人)

	入館人員	営業日数	1日平均	個人				団体※						
				大人	高大生	小人	計	大人	高大生	小人	計	市内	市外	電子申請
4月	95,906	25	3,836	55,162	3,811	29,547	88,520	2,468	940	3,978	7,386	1,223	3,639	2,524
5月	113,530	25	4,541	65,622	4,153	28,066	97,841	3,473	299	11,917	15,689	5,975	7,437	2,277
6月	87,252	25	3,490	45,932	3,059	19,621	68,612	3,938	1,708	12,994	18,640	10,553	6,820	1,267
7月	135,360	25	5,414	78,475	3,709	38,766	120,950	3,952	635	9,823	14,410	4,950	6,199	3,261
8月	222,116	27	8,227	126,553	8,883	73,974	209,410	5,702	589	6,415	12,706	2,766	4,091	5,849
9月	88,870	22	4,040	52,713	6,113	21,106	79,932	2,507	411	6,020	8,938	3,356	3,981	1,601
10月	86,879	25	3,475	41,642	2,479	22,638	66,759	2,861	281	16,978	20,120	9,138	9,899	1,083
11月	70,550	25	2,822	36,197	3,098	16,015	55,310	2,989	712	11,539	15,240	6,862	6,650	1,728
12月	142,053	23	6,176	82,140	11,052	38,835	132,027	2,197	542	7,287	10,026	6,638	1,783	1,605
1月	161,869	23	7,038	91,207	8,385	48,690	148,282	2,374	292	10,921	13,587	10,788	1,694	1,105
2月	124,482	23	5,412	71,456	11,572	32,256	115,284	2,024	150	7,024	9,198	5,761	2,197	1,240
3月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	1,328,867	268	4,958	747,099	66,314	369,514	1,182,927	34,485	6,559	104,896	145,940	68,010	54,390	23,540
構成比 (%)	上段 個人・団体別			63%	6%	31%	100%	24%	4%	72%	100%	46%	38%	16%
	下段 全体での割合			56%	5%	28%	89%	2%	1%	8%	11%	5%	4%	2%

※団体には電子申請を含む

(2) 入館者月別利用状況 (利用種別)

(単位:人)

	展示室とプラネタリウム				展示室				合計				当月のプラ ネの割合	プラネの開館 以来の累計
	大人	高大生	小人	計	大人	高大生	小人	計	大人	高大生	小人	計		
4月	23,088	2,245	8,810	34,143	34,542	2,506	24,715	61,763	57,630	4,751	33,525	95,906	36%	19,845,403
5月	24,734	2,172	14,008	40,914	44,361	2,280	25,975	72,616	69,095	4,452	39,983	113,530	36%	19,886,317
6月	23,525	2,654	14,334	40,513	26,345	2,113	18,281	46,739	49,870	4,767	32,615	87,252	46%	19,926,830
7月	25,676	2,103	15,732	43,511	56,751	2,241	32,857	91,849	82,427	4,344	48,589	135,360	32%	19,970,341
8月	30,751	3,710	19,247	53,708	101,504	5,762	61,142	168,408	132,255	9,472	80,389	222,116	24%	20,024,049
9月	22,495	3,322	8,779	34,596	32,725	3,202	18,347	54,274	55,220	6,524	27,126	88,870	39%	20,058,645
10月	22,794	2,074	15,936	40,804	21,709	686	23,680	46,075	44,503	2,760	39,616	86,879	47%	20,099,449
11月	22,234	2,498	11,545	36,277	16,952	1,312	16,009	34,273	39,186	3,810	27,554	70,550	51%	20,135,726
12月	21,547	3,758	10,847	36,152	62,790	7,836	35,275	105,901	84,337	11,594	46,122	142,053	25%	20,171,878
1月	21,415	2,336	13,635	37,386	72,166	6,341	45,976	124,483	93,581	8,677	59,611	161,869	23%	20,209,264
2月	20,304	4,544	9,257	34,105	53,176	7,178	30,023	90,377	73,480	11,722	39,280	124,482	27%	20,243,369
3月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	20,243,369
計	258,563	31,416	142,130	432,109	523,021	41,457	332,280	896,758	781,584	72,873	474,410	1,328,867	33%	
構成比(%)	20%	2%	11%	33%	39%	3%	25%	67%	59%	5%	36%	100%		

(3) 団体地域別入館者数

区分		件数 (単位:件)	人数 (単位:人)	人員 百分率 (%)	区分		件数 (単位:件)	人数 (単位:人)	人員 百分率 (%)
地域	地域								
東海	市内	1,319	68,010	55.56%	四国	徳島	0	0	0.00%
	愛知	509	28,383	23.19%		香川	0	0	0.00%
	岐阜	118	4,855	3.97%		愛媛	0	0	0.00%
	三重	118	6,703	5.48%		高知	0	0	0.00%
	静岡	36	1,756	1.43%		小計	0	0	0.00%
	小計	2,100	109,707	89.63%		九州	福岡	1	159
北陸	福井	7	242	0.20%	長崎		0	0	0.00%
	石川	11	325	0.27%	佐賀		0	0	0.00%
	富山	6	165	0.13%	熊本		0	0	0.00%
	小計	24	732	0.60%	大分		0	0	0.00%
甲信越	新潟	1	14	0.01%	宮崎		0	0	0.00%
	長野	35	1,302	1.07%	鹿児島	0	0	0.00%	
	山梨	0	0	0.00%	小計	1	159	0.13%	
	小計	36	1,316	1.08%	東北	青森	1	18	0.01%
関東	東京	33	1,274	1.04%		岩手	1	30	0.02%
	神奈川	7	128	0.10%		宮城	0	0	0.00%
	千葉	3	121	0.10%		秋田	0	0	0.00%
	埼玉	2	58	0.05%		山形	1	35	0.03%
	群馬	0	0	0.00%		福島	0	0	0.00%
	栃木	1	27	0.02%		小計	3	83	0.06%
	茨城	0	0	0.00%		北海道・ 沖縄地 区	北海道	0	0
	小計	46	1,608	1.31%	沖縄		0	0	0.00%
近畿	滋賀	57	2,885	2.36%	小計	0	0	0.00%	
	京都	58	3,867	3.16%	外国	中国	3	99	0.08%
	大阪	20	761	0.62%		韓国	2	100	0.08%
	奈良	3	244	0.20%		台湾	4	239	0.20%
	和歌山	5	151	0.12%		小計	9	438	0.36%
	兵庫	7	197	0.16%	合計	2,376	122,400	100%	
	小計	150	8,105	6.62%	※電子申請を含まない				
中国	鳥取	0	0	0.00%					
	島根	1	33	0.03%					
	岡山	1	7	0.01%					
	広島	4	187	0.15%					
	山口	1	25	0.02%					
小計	7	252	0.21%						

年度	入館者数	内プラネタリウム 入館者数	営業日数 (日)	一日平均	個					団					体			
					大	人	中高生	小学生以下	計	大	人	中高生	小学生以下	計	市	内	市	外
昭和37	111,023	111,023	125	888	26,875	—	11,883	15,339	54,097	5,245	—	24,442	27,239	56,926	—	—		
38	212,047	212,047	311	682	45,559	—	19,821	25,975	91,355	9,662	—	47,583	63,447	120,692	—	—		
39	325,001	265,607	310	1,048	82,423	—	49,650	57,244	189,317	12,275	—	49,259	74,150	135,684	—	—		
40	366,296	279,218	308	1,189	94,530	—	55,870	72,624	223,024	13,454	—	49,119	80,699	143,272	—	—		
41	375,720	292,208	314	1,197	90,549	—	48,381	72,073	211,003	21,442	—	47,539	95,736	164,717	65,142	99,575		
42	379,220	284,639	312	1,215	84,636	—	45,610	71,671	201,917	36,367	—	42,049	98,887	177,303	71,549	105,754		
43	431,740	334,008	311	1,388	98,885	—	46,620	91,834	237,339	32,482	—	45,996	115,923	194,401	78,887	115,514		
44	453,398	362,255	313	1,449	110,378	—	52,100	107,619	270,097	23,684	—	36,822	122,795	183,301	76,615	106,686		
45	445,817	365,216	310	1,438	108,462	—	46,238	112,918	267,618	15,469	—	29,296	133,434	178,199	81,945	96,254		
46	470,288	390,347	312	1,507	105,711	—	47,988	118,015	271,714	17,967	—	37,836	142,771	198,574	81,457	117,117		
10年累計	3,570,550	2,896,568	2,926	1,220	848,008	—	424,161	745,312	2,017,481	188,047	—	409,941	955,081	1,553,069	455,595	640,900		
47	464,848	374,054	311	1,495	103,054	—	46,669	130,325	280,048	12,853	—	29,701	142,246	184,800	72,515	112,285		
48	497,966	416,138	310	1,606	116,551	—	48,862	137,816	303,229	11,461	—	28,636	154,640	194,737	79,338	115,399		
49	510,016	429,438	308	1,656	114,693	—	44,918	141,206	300,817	13,221	—	32,085	163,893	209,199	81,177	128,022		
50	553,795	456,725	309	1,792	139,445	—	46,493	167,510	353,448	12,400	—	28,378	159,569	200,347	83,613	116,734		
年度	入館者数	内プラネタリウム	営業日数	一日平均	大	人	廃止	中学生以下	計	大	人	廃止	中学生以下	計	市	内	市	外
51	495,551	407,415	282	1,757	135,069	—	—	166,156	301,225	17,118	—	—	177,208	194,326	83,852	110,474		
52	501,747	394,632	296	1,695	142,757	—	—	163,125	305,882	15,055	—	—	180,810	195,865	87,483	108,382		
53	519,689	386,720	296	1,756	152,733	—	—	174,502	327,235	17,172	—	—	175,282	192,454	77,568	114,886		
54	515,791	391,944	296	1,743	151,304	—	—	164,754	316,058	17,744	—	—	181,989	199,733	78,791	120,942		
55	593,571	390,348	296	2,005	151,989	—	—	150,296	302,285	57,522	—	—	233,764	291,286	178,904	112,382		
56	477,384	381,592	295	1,618	148,900	—	—	136,897	285,797	14,196	—	—	177,391	191,587	77,275	114,312		
20年累計	8,700,908	6,925,574	5,925	1,469	2,204,503	—	—	611,103	2,277,899	5,093,505	—	—	528,741	2,701,873	3,607,403	1,356,111	1,794,718	
57	476,272	378,781	296	1,609	149,775	—	—	134,148	283,923	17,891	—	—	174,458	192,349	83,642	108,707		
58	418,701	310,786	297	1,410	135,770	—	—	110,113	245,883	14,442	—	—	158,376	172,818	71,103	101,715		
59	452,249	347,805	296	1,528	154,924	—	—	113,062	267,986	18,167	—	—	166,096	184,263	86,574	97,689		
60	499,750	369,976	295	1,694	169,253	—	—	114,491	283,744	32,037	—	—	183,969	216,006	120,435	95,571		
61	421,309	349,585	296	1,423	162,703	—	—	98,694	261,397	15,590	—	—	144,322	159,912	76,031	83,881		
62	571,611	393,271	297	1,925	196,068	—	—	128,928	324,996	75,423	—	—	171,192	246,615	167,887	78,728		
63	440,089	344,212	264	1,667	176,202	—	—	119,364	295,566	16,264	—	—	128,259	144,523	76,938	67,585		
平成元	636,758	368,132	292	2,181	301,961	—	—	148,123	450,084	46,153	—	—	140,521	186,674	122,284	64,390		
2	738,855	406,299	296	2,496	343,438	—	—	173,796	517,234	47,614	—	—	174,007	221,621	135,999	85,622		
3	726,889	359,142	296	2,456	377,902	—	—	193,828	571,730	22,825	—	—	132,334	155,159	75,659	79,500		
30年累計	14,083,391	10,553,563	8,850	1,591	4,372,499	—	—	611,103	3,612,446	8,596,048	—	—	528,741	4,275,407	5,487,343	2,372,663	2,658,106	

1 年度別入館者数

参 考 資 料

年度	入館者数	内プ・ラネタウム 入館者数	営業日数 (日)	一日平均	個 人				団 体				市 内		市 外		
					大 人	中高生	小学生以下	計	大 人	中高生	小学生以下	計	市 内	市 外			
4	709,590	365,808	295	2,405	345,654	—	—	220,654	566,308	21,890	—	—	121,392	143,282	71,870	71,412	
5	676,276	339,482	290	2,332	334,791	—	—	203,974	538,765	18,980	—	—	118,531	137,511	72,245	65,266	
6	684,841	310,854	273	2,509	286,342	—	—	277,186	563,528	30,327	—	—	90,986	121,313	80,964	40,349	
7	733,520	309,803	297	2,470	342,987	—	—	275,551	618,538	15,254	—	—	99,728	114,982	58,901	56,081	
8	680,538	290,105	295	2,307	288,377	—	—	285,073	573,450	12,090	—	—	94,998	107,088	58,336	48,752	
9	610,342	265,050	296	2,062	244,626	—	—	259,373	503,999	12,218	—	—	94,125	106,343	61,823	44,520	
10	711,416	287,398	295	2,412	298,300	—	—	303,425	601,725	13,749	—	—	95,942	109,691	65,938	43,753	
11	724,128	259,983	297	2,438	321,340	—	—	298,372	619,712	10,796	—	—	93,620	104,416	66,764	37,652	
12	544,530	248,740	296	1,840	209,759	—	—	238,172	447,931	10,041	—	—	86,558	96,599	71,320	25,279	
13	550,524	250,887	296	1,860	205,585	—	—	247,957	453,542	11,549	—	—	85,433	96,982	70,942	26,040	
40年累計	20,709,096	13,481,673	11,780	1,758	7,250,260	—	—	611,103	6,222,183	14,083,546	840,089	—	528,741	5,256,720	6,625,550	3,051,766	3,117,210
14	675,170	232,297	295	2,289	291,794	—	—	315,391	607,185	9,053	—	—	58,932	67,985	43,293	24,692	
15	624,325	250,311	297	2,102	247,780	—	—	296,374	544,154	10,892	—	—	69,279	80,171	52,497	27,674	
16	615,425	226,473	296	2,079	236,606	—	—	306,241	542,847	8,290	—	—	64,288	72,578	51,462	21,116	
17	486,104	231,470	296	1,642	196,483	—	—	217,833	414,316	8,042	—	—	63,746	71,788	50,371	21,417	
年度	入館者数	内プ・ラネタウム	営業日数	一日平均	大 人	高大生	中学生以下	計	大 人	高大生	中学生以下	計	市 内	市 外	電子申請		
18	614,577	261,510	296	2,076	248,508	12,480	—	270,513	531,501	8,776	2,756	—	71,544	83,076	53,611	29,465	
19	618,956	250,848	296	2,091	238,472	10,819	—	290,710	540,001	7,461	2,240	—	69,254	78,955	51,378	27,577	
20	607,864	252,363	296	2,054	239,432	12,520	—	278,421	530,373	7,627	2,213	—	67,651	77,491	50,933	26,558	
21	606,157	261,073	295	2,055	236,005	13,274	—	281,485	530,764	6,736	2,335	—	66,322	75,393	51,386	24,007	
22	481,957	181,837	162	2,975	205,740	12,142	—	210,537	428,419	4,838	1,532	—	47,168	53,538	43,911	9,627	
年度	入館者数	内プ・ラネタウム	営業日数	一日平均	大 人	高大生	中学生以下	計	大 人	高大生	中学生以下	計	市 内	市 外	電子申請		
23	1,531,854	589,595	297	5,158	862,732	102,687	—	339,153	1,304,572	72,648	10,128	—	144,506	227,282	97,772	118,936	10,574
50年累計	27,571,485	16,219,450	14,606	1,888	10,253,812	163,922	611,103	9,028,841	20,057,678	984,452	21,204	528,741	5,979,410	7,513,807	3,598,380	3,448,279	10,574
24	1,303,372	564,471	296	4,403	715,968	56,793	—	297,869	1,070,630	82,152	10,887	—	139,703	232,742	106,155	107,518	19,069
25	1,436,926	541,255	295	4,871	806,440	71,266	—	344,014	1,221,720	68,908	9,609	—	136,689	215,206	94,216	99,472	21,518
26	1,394,003	522,904	296	4,709	786,788	69,898	—	340,702	1,197,388	54,685	9,201	—	132,729	196,615	85,738	90,429	20,448
27	1,382,275	482,431	295	4,686	782,035	70,735	—	353,699	1,206,469	44,623	8,705	—	122,478	175,806	78,779	83,189	13,838
28	1,379,296	511,500	296	4,660	753,314	84,098	—	361,852	1,199,264	45,336	7,974	—	126,722	180,032	66,544	88,916	24,572
29	1,219,416	484,810	296	4,120	649,120	58,250	—	337,839	1,045,209	43,571	6,692	—	123,944	174,207	80,902	70,315	22,990
30	1,354,469	484,439	295	4,591	790,688	71,616	—	322,142	1,184,446	38,060	7,873	—	124,090	170,023	80,000	68,150	21,873
令和元	1,328,867	432,109	268	4,958	747,099	66,314	—	369,514	1,182,927	34,485	6,559	—	104,896	145,940	68,010	54,390	23,540
総 計	38,370,109	20,243,369	16,943	2,265	16,285,264	712,892	611,103	11,756,472	29,365,731	1,396,272	88,704	528,741	6,990,661	9,004,378	4,258,724	4,110,658	178,422

2 常設展示品（令和2年3月31日現在）

〔展示品数237点(理工館131点・天文館38点・生命館52点・大型展示4点・屋外展示9点・その他3点)〕

フロアテーマ等	ゾーン名称	展示品名	分野	製作年度	備考	
不思議のひろば 理工館2階 (34点)	ひかりのふしぎ	さんしょくのかげ	総合その他	平22	市	
		かげえあそび	総合その他	平22	市	
		ひかりのおえかき	総合その他	平22	市	
		もじゃもじゃかがみ	総合その他	平22	市	
		つかめない?	総合その他	平22	市	
		はんたいかがみ	総合その他	平22	市	
		あくしゅかがみ	総合その他	平22	市	
		へんしんかがみ	総合その他	平22	市	
		おっかけかがみ	総合その他	平22	市	
		すきとおるかがみ	総合その他	平22	市	
	うごきとかたちのふしぎ	ボールコースター	総合その他	平22	市	
		うきでるかたち	総合その他	平22	市	
		ふりこのすなもよう	総合その他	平22	市	
		おどるすなもよう	総合その他	平22	市	
		うかぶボール	総合その他	平22	市	
		すいつくボール	総合その他	平22	市	
	おとのふしぎ	おちにくいかたち	総合その他	平22	市	
		ふしぎなおとのもり	総合その他	平22	市	
		こだまパイプ	総合その他	平22	市	
	かんかくのふしぎ	パラボラ	総合その他	平22	市	
		いろいろなさっかく	総合その他	平22	市	
		すべすべのて	総合その他	平22	市	
		さっかくのへや	総合その他	平22	市	
		ふしぎなりったい	総合その他	平22	市	
なつかしのてんじ	ふしぎなえんばん	総合その他	平22	市		
	きえるからだ	総合その他	平22	市		
	あなたもさつきよくか	総合その他	平3	市		
	NKSじしゃく	総合その他	昭49	寄贈		
	たこのダンス	総合その他	昭39	市		
あそびのひろば	イライラぼう	総合その他	平5	市		
	Go Go! しょうぼうしゃ	総合その他	平13	出品		
	だまし絵サーカス	総合その他	平29	市		
	じゅんすいッチ	総合その他	平28	市		
技術のひろがり 理工館3階 (20点)	街ではたらく機械	ウッディ・プレイランド	総合その他	平22	市	
		モノづくり都市パノラマ	交通・機械	平22	市・寄	
		電車	交通・機械	平22	市	
		クレーン	交通・機械	平22	市	
		大型船	交通・機械	平22	市	
		飛行機	交通・機械	平22	市	
		ロボット	交通・機械	平22	市・寄	
	機械の素	歯車	交通・機械	平1	市	
		滑車	交通・機械	平22	市	
		てこ	交通・機械	平22	市	
		ねじ	交通・機械	平22	市	
		ベルトプーリー	交通・機械	平22	市	
	部品・製品をつくる	けずる	交通・機械	平22	市	
		プレス	交通・機械	平22	市	
		溶接	交通・機械	平22	市	
	身近な機械	鋳物・射出成形	交通・機械	平22	市・寄	
		ミシン	交通・機械	平22	市・寄	
		自動販売機	交通・機械	平22	市・寄	
		掃除機	交通・機械	平22	市・寄	
		時計	交通・機械	平22	市・寄	
	科学原理とのふれあい 理工館4階 (31点)	実験のアトリエ	くらしの中の電子機器	交通・機械	平22	市・寄
			水の波を見る	エネルギー・物理	平22	市
			縦波と横波	エネルギー・物理	平22	市
			電磁波	エネルギー・物理	平22	市・寄
声の振動を見る			エネルギー・物理	平22	市	
音の波を見る			エネルギー・物理	平22	市	
音のフレネルレンズ			エネルギー・物理	平22	市	
ボールの色選び			エネルギー・物理	平22	市	
偏光			エネルギー・物理	平22	市	

フロアテーマ等	ゾーン名称	展示品名	分野	製作年度	備考
科学原理との ふれあい 理工館4階 (31点)	実験のアトリエ	屈折	エネルギー・物理	平22	市
		振動する磁界	エネルギー・物理	平22	市
		磁性流体	エネルギー・物理	平22	市
		電磁石	エネルギー・物理	平22	市
		トムソンリング	エネルギー・物理	平22	市
		磁界のかたち	エネルギー・物理	平22	市
		モーター	エネルギー・物理	平22	市
		落ちにくい円盤	エネルギー・物理	平22	市
		モンキーハンティング	エネルギー・物理	平22	市
		加速度と距離	エネルギー・物理	平22	市
		回る水槽	エネルギー・物理	平22	市
		モーメント	エネルギー・物理	平22	市
		転がる円盤	エネルギー・物理	平22	市
	パラボラの反射	数学・情報	平22	市	
	数学	自然を数字で表す	数学・情報	平22	市
公式と図形		数学・情報	平22	市	
物理現象に見る数学		数学・情報	平22	市	
自然現象に見る数学		数学・情報	平22	市	
直線がつくる曲面		数学・情報	平22	市	
情報科学	スーパーコンピューター「京」	数学・情報	令1	市	
	二進法のしくみ	数学・情報	平22	市	
	文字のコード化	数学・情報	平22	市	
	デジタル画像	数学・情報	平22	市	
物質・エネルギーの せかい 理工館5階 (32点)	材料大集合	身の回りの材料大図解	物質	平22	市・寄
		重さくらべ	物質	平22	市・寄
		自転車の重さくらべ	物質	平22	市
		金属疲労	物質	平22	市
		熱伝導	物質	平22	市
		電気伝導	物質	平22	市
		弾み方	物質	平22	市
		板ばねの力くらべ	物質	平22	市
		形状記憶合金	物質	平22	市・寄
		液晶	物質	平22	市
		超はっ水と超親水	物質	平22	市・寄
		香料	物質	平22	市・寄
		熱や光で色変化	物質	平22	市・寄
		セラミックスのセンサ	物質	平22	市
	半導体	物質	平22	市	
	セラミックス	物質	平22	市・寄	
	金属	物質	平22	市・寄	
	有機材料	物質	平22	市	
	原子・分子の世界	微小な世界へ	物質	平22	市
		原子の誕生	物質	平22	市
		元素周期表	物質	平22	市
		炎色反応	物質	平22	寄贈
		蛍光	物質	平22	市
		動き回る分子-ブラウン運動-	物質	平22	市
		さまざまな分子と化学結合	物質	平22	市
		水分子	物質	平22	市
	炭素	物質	平22	市	
エネルギー	エネルギーとは	エネルギー・物理	平22	市	
	世界のエネルギー事情	エネルギー・物理	平22	市	
	わたしたちの主なエネルギー源	エネルギー・物理	平22	出品	
	エネルギーで成り立っているわたしたちの暮らし	エネルギー・物理	平22	市	
	エネルギーQ&A	エネルギー・物理	平22	市	
最新科学とのであい 理工館6階 (14点)	地球を知る	新たな世界への挑戦	環境	平22	市
		気候変動を探る	環境	平22	市
		二酸化炭素地中貯留実験	環境	平22	市
	宇宙へ挑む	太陽を観測する～太陽望遠鏡～	天文・宇宙	平22	市
		宇宙へ到達する～H-II Bロケット	天文・宇宙	平22	市・出

フロアテーマ等	ゾーン名称	展示品名	分野	製作年度	備考
最新科学とのであい 理工館6階 (14点)	宇宙へ挑む	宇宙から地球を解き明かす-世界のロケットと地球観測衛星- 宇宙環境を利用する～「きぼう」 日本実験棟～	天文・宇宙	平22	市
			天文・宇宙	平22	市・出
	地下へ挑む	地圏	環境	平22	市
		地下へ到達する-地球深部探査船 「ちきゅう」-	環境	平22	市
		地下から地球を解き明かす-ボー リングコア-	環境	平22	市・出
		地下から地球を解き明かす-地震 観測網- 地下環境を利用する-ジオプロ ジェクト-	環境	平22	市
	話題の科学	話題の科学1	総合その他	平22	市
話題の科学2		総合その他	平22	市	
宇宙のすがた 天文館5階 (38点)	天文学のあゆみ	古代人の宇宙	天文・宇宙	平22	市
		天動説から地動説へ	天文・宇宙	平22	市
		江戸時代の天文学	天文・宇宙	平22	市
		光学望遠鏡のしくみ	天文・宇宙	平22	市
		望遠鏡をのぞいてみよう	天文・宇宙	平22	市
		65cm望遠鏡	天文・宇宙	平22	市
		望遠鏡の大きさをくらべ	天文・宇宙	平22	市
		さまざまな波長	天文・宇宙	平22	市
		分光観測とスペクトル	天文・宇宙	平22	市
		電波天文学	天文・宇宙	平22	市
		赤外線天文学	天文・宇宙	平22	出品
		X線天文学	天文・宇宙	平22	出品
		市街光と星空	天文・宇宙	平17	市
		星のまたたき	天文・宇宙	平22	市
	宇宙線をみる	天文・宇宙	昭52	市	
	宇宙のひろがり	パワーオブテン	天文・宇宙	平22	市
		太陽系	天文・宇宙	平22	市
		月の満ち欠け	天文・宇宙	平22	市
		月への挑戦	天文・宇宙	平22	市
		小牧隕石	天文・宇宙	平30	市・出
		惑星の動きと万有引力	天文・宇宙	昭45	市
		惑星探査	天文・宇宙	平22	市
		宇宙を探る	天文・宇宙	平22	市
		宇宙を測る	天文・宇宙	平22	市
		ニュートリノ	天文・宇宙	平22	市
		星座を形づくる星々	天文・宇宙	平22	市
		星の世界	天文・宇宙	平22	市
		銀河の世界	天文・宇宙	平22	市
	銀河系と天の川	天文・宇宙	平22	市	
	宇宙の果て	天文・宇宙	平22	市	
	プラネタリウムの 歴史	プラネタリウムの歴史	天文・宇宙	平22	市
		アイジンガー・プラネタリウム	天文・宇宙	平22	市
		ピンホール式プラネタリウム	天文・宇宙	平22	寄贈
		ツァイスIV型プラネタリウム	天文・宇宙	平22	市
		ファイバー式プラネタリウム	天文・宇宙	平22	市
		デジタル式プラネタリウム	天文・宇宙	平29	寄贈
	デジタルタイムカプセル	天文・宇宙	平22	市	
星座早見盤	天文・宇宙	平22	市		
地球のすがた 生命館2階 (14点)	地球環境変化の 歴史	地球環境変化の歴史	環境	平10	市
	過去の地球を探る	過去の地球を探る	環境	平8	寄贈
		地層探検ゲーム	環境	平13	寄贈
		マップサウルス	環境	平21	市
		地球を知る手がかり	環境	平28	市
	地球のデザイン	水の流れがつくる模様	環境	平10	市
		対流がつくる模様	環境	平10	市
		飛び出す雲のリング	環境	平10	市
		夕焼けをつくろう	環境	平10	市
		虹をつくろう	環境	平10	市
		地震実験装置	環境	平10	市
地球環境ゲーム	環境	平15	市		
発見処	発見処	総合その他	平13	市	
	地球工房	総合その他	平16	市	

フロアテーマ等	ゾーン名称	展示品名	分野	製作年度	備考
生活のわざ 生命館3階 (10点)	食のめぐみ	あなたの食事診断	生活	平12	市
		サイクルでサイクル	生活	平13	市
	家と都市	家のつくり	生活	平13	市
		リサイクルガーデン	生活	平13	市
		都市の地下	生活	平13	市
		都市の防災	生活	平13	市
	くらしと地球	世界のくらし	生活	昭63	市
		くらしとお天気	生活	平11	市
		環境とくらし	生活	平13	市
		都市気候観測ステーション	生活	平13	市
人体のふしぎ 生命館4階 (18点)	うごかす・ささえ る	筋肉のふしぎ/骨のふしぎ	生命	平28	市
		顔の筋肉と骨を見てみよう	生命	平29	市
		筋肉を動かしてみよう	生命	平29	市
		骨パズル	生命	平29	市
	そだつ・うけつ ぐ・かわる	受精から出産まで	生命	平30	市
		つたえる・かんが える・ちょうせつ する	神経系・内分泌系のふしぎ	生命	平28
	ミクロの文字を書いてみよう		生命	平30	市
	自分の触覚を試してみよう		生命	平30	市
	はこぶ・めぐる	自分の反応速度を調べてみよう	生命	平30	市
		呼吸・循環のふしぎ	生命	平28	市
		自分の血管を見てみよう	生命	平29	市
	とりこむ・すてる	自分の心臓の動きを感じてみよう	生命	平29	市
		消化・吸収・排出のふしぎ	生命	平28	市
		食べ物はどこへゆく?	生命	平28	市
消化器ギャラリー		生命	平28	市	
人体スタジアム	内臓パズル	生命	平29	市	
	人体ランニング	生命	令1	市	
		ポーズをとってみよう	生命	令1	市
生命のひみつ 生命館5階 (10点)	生きものラボ	ワンダーゲノム	生命	平23	市
		生命ラボ	生命	平23	市
		生きものギャラリー	生命	平23	市
		遺伝子ミニラボ	生命	平23	市
	細胞	細胞共和国	生命	平24	市
		細胞ラボ	生命	平24	市
	DNA	DNAってなんだろう?	生命	平25	市
		チャレンジ! DNA	生命	平25	市
くらしと バイオテクノロジー	バイオのめぐみ	生命	平26	市	
	バイオの森	生命	平26	市	

大型展示 (4点)

水のひろば 理工館2・3階	くものステージ	さかのぼるあめ	総合その他	平22	市・寄
		みずのプリズム			
		くものつぶとあめのつぶ			
	あめのステージ	ころがるすいてき			
		あまつぶのかたち			
	かわのステージ	ながれとうず			
		みずのシーソー			
		いろいろなすいしゃ			
	うみのステージ	うずをつくる			
		アルキメデスのポンプ			
おうふくポンプ					
かいてんポンプ					
かいてんぐるま					
ながれあそび					
みずでっぼう					
ジャンボしゃぼんまく					
りったいしゃぼんまく					
ぶくぶくタンク					
ポコポコタンク					
竜巻ラボ理工館3・4階	竜巻ラボ	竜巻ラボ	環境	平22	市
放電ラボ理工館4・5階	放電ラボ	放電ラボ	エネルギー・物理	平22	市
極寒ラボ理工館5階	極寒ラボ	極寒ラボ	環境	平22	市・寄

その他 (3点)

エントランスホール 理工館1階 (2点)	エントランス展示	LE-7エンジン	天文・宇宙	平6	出・寄
		建物の環境配慮設備	環境	平22	市
休憩室生命館1階	フーコーの振り子	フーコーの振り子	天文・宇宙	平22	市

屋外

屋外展示 (9点)	屋外展示	B6型蒸気機関車 (調査中)	交通・機械	昭43	寄贈
		市電1400型ボギー車	交通・機械	昭49	寄贈
		H-II Bロケット	天文・宇宙	平23	寄贈
		日本実験棟「きぼう」	天文・宇宙	平23	寄贈
		南極観測用雪上車SM50S型522号車	環境	平29	出品
		ニュートンのりんごの木	エネルギー・物理	平22	寄贈
		フランスス水車	エネルギー・物理	昭43	出品
		無人探査機 ドルフィン3K	環境	平16	出品
		風力発電装置	エネルギー・物理	平16	寄贈

分類別集計	天文・宇宙	46
	物質	27
	数学・情報	10
	エネルギー・物理	30
	交通・機械	22
	生命	28
	環境	25
	生活	10
	総合その他	39
	合計	237

備考欄集計	市	194	82%
	市・寄	19	8%
	市・出	4	2%
	寄贈	12	5%
	出品	7	3%
	出・寄	1	0%
	合計	237	100%

建物集計	理2	34	
	理3	20	
	理4	31	
	理5	32	
	理6	14	131
	天5	38	38
	生2	14	
	生3	10	
	生4	18	
	生5	10	52
	大型	4	4
	その他	3	3
	屋外	9	9
	合計		237

3 年度別決算

※職員給与は市役所費用にて一括計上のため除く

年度	経 常 費 歳 出			歳入決算 (観覧料)	総入場者 数	摘要	科学館費以外の歳出
	人件費	運営費	計				
	千円	千円	千円	千円	人	千円	千円
昭和 36	—	989	989	—		※	建設費 194,900
37	1,440	13,758	15,198	6,790	111,023	※ 37.11.1 第一期工事(天文館)完成	建設費 245,991
38	720	22,470	23,190	12,537	212,047	※ 38.6.29 第二期工事(理工館)着工	建設費 200,000
39	27,569	38,513	66,082	22,523	325,001	39.10.30 第二期工事(理工館)完成	建設費 407,149
40	33,648	53,904	87,552	27,296	366,296		
41	36,936	58,427	95,363	27,259	375,720		
42	39,914	65,038	104,952	26,564	379,220		
43	45,075	66,429	111,504	30,839	431,740	スカイラインプロジェクタ設置	
44	51,485	73,946	125,431	33,525	453,398	プラネタリウム椅子取替え	
45	58,161	77,139	135,300	32,700	445,817	プラネタリウムドーム内天井塗装	
46	69,792	89,231	159,023	34,455	470,288		
47	74,893	101,326	176,219	33,049	464,848		
48	86,034	98,959	184,993	36,261	497,966		
49	106,543	111,006	217,549	36,988	510,016		
50	148,972	164,077	313,049	40,768	553,795	S C R 調光器取替	
51	161,180	387,779	548,959	52,046	495,551		空調熱源取替 214,000
52	160,845	196,793	357,638	51,705	501,747		
53	182,537	212,063	394,600	53,053	519,689		
54	190,001	216,492	406,493	53,066	515,791		
55	198,134	223,249	421,383	55,110	593,571		
56	203,376	254,889	458,265	51,071	477,384		エレベータ取替 49,000
57	217,504	274,420	491,924	50,913	476,272		エレベータ取替 49,500
58	223,636	289,283	512,919	43,480	418,701		プラネタリウム室改修 103,000
59	229,019	288,658	517,677	69,432	452,249		天文館改修 220,000 生命館基本設計 7,000 望遠鏡設置 75,000
60	242,433	280,497	522,930	76,532	499,750		生命館実施設計 70,000
61	264,216	288,563	552,779	71,012	421,309		生命館建設(初年度分) 895,950
62	277,742	292,205	569,947	78,464	571,611		生命館建設(第2年度分) 552,200 科学館の改修(初年度分) 249,600
63	291,979	315,957	607,936	65,317	440,089		生命館建設(最終年度分) 2,415,770 科学館の改修(最終年度分) 998,400 プラネタリウムの施設整備 87,796 発券改札業務の機械化 93,090

(次ページへ続く)

年度	経常費歳出			歳入決算 (観覧料)	総入場者数	摘要	科学館費以外の歳出
	人件費	運営費	計				
平成 元	千円	千円	千円	千円	人	千円	千円
	311,870	611,743	923,613	113,723	636,758	生命館開館式典費 4,720	
2	324,977	593,417	918,394	130,943	738,855		
3	354,803	728,085	1,082,888	117,673	726,889	プラネタリウムオーバーホール 22,000 ハイビジョン 映像情報コーナー設置 97,000	
4	365,527	572,743	938,270	116,924	709,590	開館30周年記念式典	
5	373,281	609,427	982,708	107,887	676,276		
6	381,162	623,955	1,005,117	88,693	684,841		理工館冷温水発生機等整備 107,000 電源設備等復旧 328,600
7	386,952	703,174	1,090,126	106,252	733,520	プラネタリウム 新演出システム導入 64,200 福祉環境整備 42,800	天文館用熱源機器取替等整備 107,000
8	381,840	525,817	907,657	84,657	680,538	自動改札システム更新 14,097	天文館空調機取替等整備 42,800 天文館・理工館耐震診断 4,422
9	382,080	562,686	944,766	77,840	610,342	プラネタリウム 調光装置改修 17,640	理工館空調機器取替等整備 109,000
10	388,960	633,179	1,022,139	84,990	711,416	館内情報システム 電気配線工事 8,400	
11	395,080	587,541	982,621	77,413	724,128	ガス管及び水道管布設替 9,000 プラネタリウムオーバーホール 20,000	
12	388,557	548,277	936,834	63,741	544,530	スカイラインプロジェクター システム更新 5,600	
13	349,200	638,055	987,255	65,908	550,524	プラネタリウムスクリーン塗装 15,225	
14	334,800	545,151	879,951	72,087	675,170	プラネタリウム 補聴システム導入 1,597 理工館展示品更新 4,000	
15	323,000	535,052	858,052	69,271	624,325	プラネタリウム音響装置改修 4,000 出前ミュージアム 3,137	
16	297,000	487,413	784,413	62,344	615,425	プラネタリウム電源部改修 10,626 理工館・天文館改築基本構想 4,935	
17	300,832	456,635	757,467	67,213	486,104	愛・地球博記念 ロボットサッカー国際交流 10,000 科学演芸(笹島サテライト) 3,000 理工館・天文館改築基本構想 1,785	
18	321,742	476,335	798,077	68,295	614,577	プラネタリウム映像機器改修 4,798 理工館・天文館改築基本計画 40,971	
19	341,532	391,496	733,028	64,210	618,956		理工館・天文館改築 315,589

(次ページへ続く)

年度	経常費歳出			歳入決算 (観覧料)	総入場者数	摘要	科学館費以外の歳出
	人件費	運営費	計				
平成 20	千円 335,160	千円 387,104	千円 772,264	千円 66,687	人 607,864	千円	千円
21	326,700	380,855	707,555	73,403	606,157		理工館・天文館改築 288,640
22	319,464	354,918	674,382	57,573	481,957		理工館・天文館改築 2,421,157
23	274,691	601,132	875,823	333,907	1,531,854		理工館・天文館改築 12,197,788
24	281,632	618,490	900,122	306,626	1,303,372		屋外展示・外構改築 794,389
25	289,949	617,573	907,522	277,651	1,436,926		
26	291,291	659,401	950,692	268,148	1,394,003		生命館空調動力盤交換 2,376
27	296,472	623,827	920,299	238,856	1,382,275		プラネタリウム機器の更新 151,999 天井等落下防止対策調査 8,030
28	294,690	838,348	1,133,038	240,750	1,379,296		エレベーター改修 918 生涯学習施設の大規模修繕 3,975
29	297,561	649,976	947,537	235,430	1,219,416	ノーベル賞受賞者顕彰施設整備基本計画 7,449	エレベーター改修 79,380 プラネタリウム LED 改修 27,994 生涯学習施設の大規模修繕 5,382
30	295,911	644,322	940,233	236,606	1,354,469		ノーベル賞受賞者顕彰施設整備の設計 50,406 天井落下防止対策実施設計 2,312 生涯学習施設の大規模修繕 4,846
令和 元	282,038	633,703	915,741	210,116	1,328,867		ノーベル賞受賞者顕彰施設の整備 40,159 B6型蒸気機関車の動態展示に向けた調査等 9,793 生命館トイレ改修の設計 3,597 天井落下防止対策工事 31,696 生涯学習施設の大規模修繕 8,183

(注) 昭和56年度以降の人件費については、生涯学習推進費(平成9年度までは社会教育総務費)にて一括計上のため按分により算出

4 展示協力

協力者	展示品名	区分	展示場所
独立行政法人宇宙航空研究開発機構	H-II ロケットメインエンジン(LE-7)	展示品出品	理工館1階
独立行政法人宇宙航空研究開発機構	H-II ロケット(模型)	展示品寄贈	理工館1階
立命館大学文学部心理学専攻教授 北岡明佳	さっかく	作品提供	理工館2階
明治大学研究・知財戦略機構特任教授 杉原厚吉	さっかく	作品提供	理工館2階
住友特殊金属株式会社	NKSじしゃく	展示品寄贈	理工館2階
名古屋市消防局	GoGo!しょうぼうしゃ	展示品出品	理工館2階
竹田印刷株式会社	ころがるすいてき(超はっ水シート)	物品寄贈	理工館2階
名古屋大学大学院工学研究科・マテリアル理工学専攻教授 高井治	ころがるすいてき	製作協力	理工館2階
オーストラリア国立科学技術センター	いろいろな錯覚(ホロウマスク錯視)	物品寄贈	理工館2階
名古屋鉄道株式会社	モノづくり都市パノラマ(模型車両)	物品寄贈	理工館3階
日本車輛製造株式会社	電車	画像協力	理工館3階
名古屋市交通局	電車	画像協力	理工館3階
高木 常雄	蒸気機関車C53模型 蒸気機関車C64模型	物品寄贈	理工館3階
株式会社竹中工務店	クレーン	製作協力	理工館3階
株式会社新来島豊橋造船	大型船	画像協力	理工館3階
ナカシマプロペラ株式会社	大型船	画像協力	理工館3階
三菱航空機株式会社	飛行機	画像協力	理工館3階
中日本航空専門学校	飛行機	物品寄贈	理工館3階
株式会社デンソー	ロボット(産業ロボット体験装置) ものづくり都市パノラマ	装置部寄贈 画像協力	理工館3階 理工館3階
名古屋市立工業高等学校	けずる、溶接、鋳物・射出成形	製作協力	理工館3階
一般社団法人日本アルミニウム協会	プレス(アルミニウム標本)	物品寄贈	理工館3階
長島鋳物株式会社	鋳物・射出成形(名古屋市型マンホールふた)	物品寄贈	理工館3階
ブラザー工業株式会社	ミシン(ミシンのしくみ体験装置) ミシン(スケルトンミシン) くらしの中の電子機器(複合機・モバイルプリンター)	装置部寄贈 装置部寄贈 物品寄贈	理工館3階 理工館3階 理工館3階
富士電機リテイルシステムズ株式会社	自動販売機(自動販売機)	装置部寄贈	理工館3階
日立アプライアンス株式会社	掃除機(掃除機) 掃除機(掃除機カットモデル)	装置部寄贈 物品寄贈	理工館3階 理工館3階
リコーエレメックス株式会社	時計(時計分解図パネル・時計部品)	物品寄贈	理工館3階
なるせ時計	時計	画像協力	理工館3階
株式会社日立製作所 中部支社	くらしの中の電子機器(薄型テレビ)	物品寄贈	理工館3階
パナソニック電工株式会社	くらしの中の電子機器(蛍光灯電球)	物品寄贈	理工館3階
象印マホービン株式会社	くらしの中の電子機器(圧力IH炊飯ジャー)	装置部寄贈	理工館3階
平川明良	竜巻ラボ	音楽協力	理工館3階
株式会社デンソー	電磁波(ミリ波レーダー)	物品寄贈	理工館4階
東京都立高等学校教諭 田原輝夫	音のフレネルレンズ	製作協力	理工館4階
独立行政法人産業技術総合研究所計量標準センター	自然を数字で表す	画像協力	理工館4階
独立行政法人情報通信研究所	自然を数字で表す	画像協力	理工館4階
理化学研究所	スーパーコンピューター「京」	物品寄贈	理工館4階
パナソニック電工株式会社	身の回りの材料大図解(ノートパソコン筐体始め7点)	物品寄贈	理工館5階
大同特殊鋼株式会社	重さくらべ(金属) 形状記憶合金(形状記憶合金) 金属(金属標本)	装置部寄贈 装置部寄贈 物品寄贈	理工館5階 理工館5階 理工館5階
株式会社INAX	超はっ水と超親水(超親水タイル)	物品寄贈	理工館5階
竹田印刷株式会社	超はっ水と超親水(超はっ水シート)	物品寄贈	理工館5階
名古屋大学大学院工学研究科・マテリアル理工学専攻教授 高井治	超はっ水と超親水	製作協力	理工館5階
高砂香料工業株式会社	香料(香料) 炭素	装置素材寄贈 装置素材寄贈	理工館5階 理工館5階

協 力 者	展 示 品 名	区 分	展示場所
パイロットインキ株式会社	熱や光で色変化（サーモクロミズムシート）	装置部寄贈	理工館5階
信越化学工業株式会社	半導体	物品寄贈	理工館5階
日本特殊陶業株式会社	セラミックス（ファインセラミックス標本）	物品寄贈	理工館5階
新日本製鐵株式会社 名古屋製鉄所	金属（金属標本）	物品寄贈	理工館5階
愛知県鍍金工業組合	金属（めっき標本）	物品寄贈	理工館5階
一般社団法人日本アルミニウム協会	金属（アルミニウム標本）	物品寄贈	理工館5階
東邦ガス株式会社	炎色反応	展示品寄贈	理工館5階
中部電力株式会社	わたしたちの主なエネルギー源	装置部出品	理工館5階
石油連盟	エネルギーで成り立っているわたしたちの暮らし	資料寄贈	理工館5階
ミサワホーム株式会社	極寒ラボ（南極の建築部材）	物品寄贈	理工館5階
国立極地研究所	極寒ラボ（防寒具）	物品寄贈	理工館5階
	極寒ラボ（氷）	素材協力	理工館5階
	極寒ラボ	製作協力	理工館5階
知床斜里町観光協会	極寒ラボ（氷）	素材協力	理工館5階
立山カルデラ博物館	極寒ラボ	製作協力	理工館5階
旭川市科学館	極寒ラボ	製作協力	理工館5階
北海道オホーツク流氷科学センター	極寒ラボ	製作協力	理工館5階
関西電力株式会社	極寒ラボ（氷）	素材協力	理工館5階
名古屋大学雪氷圏研究グループ	極寒ラボ	画像協力	理工館5階
株式会社テレビ朝日	極寒ラボ	画像協力	理工館5階
西堀栄三郎記念探検の殿堂	極寒ラボ	製作協力	理工館5階
名古屋海洋博物館	極寒ラボ	製作協力	理工館5階
有限会社キューアールシー	極寒ラボ（昭和基地付近立体地図）	物品寄贈	理工館5階
独立行政法人宇宙航空研究開発機構	宇宙へ到達する（H-IIBロケット試験機の衛星フェアリングの一部）	物品寄贈	理工館6階
	宇宙へ到達する（M-Vノーズフェアリングカットモデル）	物品出品	理工館6階
	宇宙環境を利用する（SFUサーマル・ブランケット）	物品出品	理工館6階
	宇宙へ到達する	画像協力	理工館6階
	宇宙から地球を解き明かす	画像協力	理工館6階
三菱重工業株式会社	宇宙環境を利用する	画像協力	理工館6階
	宇宙へ到達する	画像協力	理工館6階
川崎重工業株式会社	宇宙環境を利用する	画像協力	理工館6階
京都大学大学院工学研究科准教授 山田泰広	二酸化炭素地中貯留実験	製作協力	理工館6階
独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構	地圏-ジオスフェア	画像協力	理工館6階
	地下環境を利用する	資料寄贈	理工館6階
東北大学理学部地球科学系教授 掛川武	地圏-ジオスフェア	資料寄贈	理工館6階
国立科学博物館	地圏-マントルと核	画像協力	理工館6階
	地下へ到達する	画像協力	理工館6階
独立行政法人海洋研究開発機構	地下から地球を解き明かす（ボーリングコア）	資料出品	理工館6階
独立行政法人産業技術総合研究所地質調査総合センター	地下から地球を解き明かす（ボーリングコア）	資料寄贈	理工館6階
独立行政法人日本原子力研究開発機構	地下から地球を解き明かす（ボーリングコア）	資料寄贈	理工館6階
	地下環境を利用する	画像協力	理工館6階
神奈川県温泉地学研究所	地下から地球を解き明かす（ボーリングコア）	資料寄贈	理工館6階
DOWAホールディングス株式会社	地下から地球を解き明かす（ボーリングコア）	資料寄贈	理工館6階
住友金属鉱山株式会社	地下から地球を解き明かす（ボーリングコア）	資料寄贈	理工館6階
名古屋市見晴台考古資料館	地下から地球を解き明かす（ボーリングコア）	資料寄贈	理工館6階
国際日本文化研究センター安田研究室	地下から地球を解き明かす（ボーリングコア）	資料寄贈	理工館6階

協 力 者	展 示 品 名	区 分	展示場所
山田亮一	地下から地球を解き明かす	製作協力	理工館 6階
徳島大学 押村美幸	気候変動を探る	画像協力	理工館 6階
国立極地研究所	気候変動を探る	画像協力	理工館 6階
独立行政法人防災科学技術研究所	地下から地球を解き明かす (地震観測網)	データ協力	理工館 6階
九州電力株式会社	地下環境を利用する	画像協力	理工館 6階
名古屋大学博物館教授 吉田英一	地下環境を利用する	データ協力	理工館 6階
一般財団法人日本宝くじ協会	80cm反射望遠鏡	寄贈	理工館 7階
山田達夫	江戸時代の天文学	資料寄贈	天文館 5階
国立天文台岡山天体物理観測所	分光観測とスペクトル (分光器)	画像協力	天文館 5階
独立行政法人宇宙航空研究開発機構	赤外線天文学 (「あかり (ASTRO-F)」冷却系プロトモデル)	物品出品	天文館 5階
名古屋大学大学院理学研究科宇宙物理学研究室	X線天文学 (X線望遠鏡 (あすか衛星搭載用スペア) ・ X線望遠鏡1/4鏡 (BBXRT試験モデル))	物品出品	天文館 5階
国立天文台 かぐやプロジェクト	月の満ち欠け	データ協力	天文館 5階
国立天文台 4D2Uプロジェクト	銀河の世界	データ協力	天文館 5階
アイジンジャー・プラネタリウム	アイジンジャー・プラネタリウム	画像協力	天文館 5階
金子芳江	ピンホール式プラネタリウム (金子式プラネタリウム始め8点)	物品寄贈	天文館 5階
名古屋大学情報文化学部	デジタルタイムカプセル	製作協力	天文館 5階
宇宙科学博物館コスモアイル羽咋	デジタル式プラネタリウム	物品寄贈	天文館 5階
東京工業大学 丸山茂徳	地球環境変化の歴史	資料寄贈	生命館 2階
財団法人東海財団	過去の地球を探る	展示品寄贈	生命館 2階
つけち創工社	過去の地球を探る	製作協力	生命館 2階
名古屋大学年代測定資料センター	過去の地球を探る	資料寄贈	生命館 2階
国立極地研究所	過去の地球を探る	資料寄贈	生命館 2階
信州大学理学部 原山智	過去の地球を探る	資料寄贈	生命館 2階
日本ガイシ株式会社	過冷却水製造装置	物品寄贈	実演用
	水流を曲げる実験装置	物品寄贈	実演用
	雲をつくる装置	物品寄贈	実演用
株式会社アドホック	地層探検ゲーム	展示品寄贈	生命館 2階
一般財団法人日本宝くじ協会	家のつくり	展示品寄贈	生命館 3階
	リサイクルガーデン	展示品寄贈	生命館 3階
	環境とくらし	展示品寄贈	生命館 3階
	都市の地下	展示品寄贈	生命館 3階
		展示品寄贈	生命館 3階
名古屋市立大学 消化器・代謝内科学教室	消化器ギャラリー	画像協力	生命館 4階
名古屋大学 森健策研究室	消化器ギャラリー	画像協力	生命館 4階
文部科学省科学研究費補助金 新学術領域研究「計算解剖学」、「多元計算解剖学」	消化器ギャラリー	画像協力	生命館 4階
大阪大学大学院 安藤英由樹	自分の心臓の動きを感じてみよう	企画・設計協力	生命館 4階
NTTコミュニケーション科学基礎研究所 渡邊 淳司			
医療社団法人ミオ・ファティリテイ・クリニック	受精から出産まで	画像協力	生命館 4階
名古屋第二赤十字病院	受精から出産まで	画像協力	生命館 4階
医療法人 葵鐘会/キャッスルベルクリニック	受精から出産まで	画像協力	生命館 4階
自然科学研究機構 生理学研究所	自分の反応速度を調べてみよう	企画協力	生命館 4階
石原産業株式会社	B 6 型蒸気機関車	展示品寄贈	屋 外
名古屋市交通局	市電1400型ボギー車	展示品寄贈	屋 外
独立行政法人宇宙航空研究開発機構	H-IIロケット第1段エンジン部	物品寄贈	屋 外
	H-IIロケット第1段LH2タンク	物品寄贈	屋 外
	H-IIロケット第1段中央部	物品寄贈	屋 外
	H-IIロケット段間部アダプタ	物品寄贈	屋 外
	H-IIロケット強度試験用供試体	物品寄贈	屋 外
三菱重工業/独立行政法人宇宙航空研究開発機構	日本実験棟「きぼう」	物品寄贈	屋 外
東京大学大学院理学系研究科附属植物園 (小石川植物園)	ニュートンのりんごの木	展示品寄贈	屋 外

協 力 者	展 示 品 名	区 分	展示場所
独立行政法人海洋研究開発機構	無人探査機ドルフィン3K	展示品出品	屋 外
名古屋城北ライオンズクラブ	風力発電装置	展示品寄贈	屋 外
公益財団法人中部科学技術センター	フランスス水車	展示品出品	屋 外
国立極地研究所	南極観測用雪上車SM50S型522号車	展示品出品	屋 外

5 特別展及び企画展

展覧会名	開催期間	入場者数(人)
時計の今昔展 ～昔の時計、今の時計～	昭38. 6. 1～6. 16	8,000
電車の科学展 ～電車の知識～	10. 10～11. 10	8,000
たのしい科学玩具展 ～いろいろな科学玩具の展示～	39. 2. 1～ 2. 26	10,000
新しい時計展 ～近代の時計展示～	39. 6. 2～6. 14	————
のびゆく時計展 ～内外の新しい時計～	40. 6. 1～6. 13	12,000
交通の科学展 ～戦後20年のあゆみと近代化～	10. 27～11. 7	20,000
豊田佐吉生誕100年記念展 ～豊田佐吉に関する資料～	41. 4. 10～4. 24	50,000
鉄の本多光太郎展 ～本多光太郎に関する各種資料の展示～	42. 4. 18～5. 7	17,021
カメラの今昔展 ～懐かしいカメラ、新しいカメラの展示～	6. 4～6. 18	12,826
交通の科学展 ～交通の近代化へのあゆみ～	10. 29～11. 12	25,098
電力王福沢桃介生誕100年展 ～福沢桃介に関する資料～	43. 6. 22～7. 7	14,980
蒸気機関車展 ～蒸気機関車に関する各種資料を展示～	10. 2～11. 10	45,943
宇宙科学と望遠鏡展	44. 11. 1～11. 16	30,780
あかりの科学展	45. 11. 1～11. 15	20,517
日本の地震展	46. 7. 22～8. 1	————
月の石と宇宙科学展	47. 1. 9～1. 23	49,876
花火の科学展	47. 9. 15～10. 1	————
世界の鉄道展 ～未来の交通～	10. 29～11. 12	36,000
のびゆく国際通信展	48. 4. 24～5. 6	————
コペルニクス展 ～生誕500年～	49. 1. 4～1. 20	————
写真の科学展 ～写真のあゆみ～	49. 10. 27～11. 10	18,994
からくりの科学展 ～からくり人形、文献及び実演～	50. 5. 17～6. 1	11,112
ステレオの科学展 ～蓄音機のあゆみ～	11. 1～11. 16	20,247
写真で見る懐かしの名古屋展	51. 11. 3～11. 14	2,546
地図の科学展	52. 3. 19～4. 3	7,000
日本の科学技術の源流を探る	52. 10. 29～11. 13	7,263
記録で見る巨大地震	53. 1. 7～1. 22	5,222
日本化学会創立100周年記念展 ～日本の化学100年のあゆみ～	53. 10. 17～10. 29	5,000
消防展 ～江戸から近代消防まで～	54. 2. 17～3. 4	12,341
夢ののりもの科学展	54. 7. 21～8. 5	33,218
電気100年展 ～エジソン電球からLSIまで～	10. 27～11. 1	15,588
科学者レオナルド・ダビンチ展	55. 7. 26～8. 10	21,000
北京原人展 ～日本人のルーツをさぐる～	10. 18～11. 30	100,088
時計展 ～江戸から昭和初期まで～	57. 3. 6～3. 21	13,835
エネルギーの科学展	57. 7. 24～8. 15	45,102
新コミュニケーション展	58. 10. 14～11. 6	19,520
はかる ～長さ・重さ・時間～	59. 3. 17～3. 29	9,409
サイエンス・アート	59. 7. 25～8. 5	15,013
科学のひろば ～みよう、ためそう、ふれよう～	60. 8. 1～8. 11	15,767
恐竜イグアノドン展	10. 8～11. 24	57,594
鉄道の科学	61. 7. 26～8. 10	25,000
NHK地球大紀行展	62. 4. 25～5. 24	100,758
ザ・カメラ展	8. 6～8. 16	15,767
オルゴールの科学	63. 7. 28～8. 7	15,799

展 覧 会 名	開 催 期 間	入場者数(人)
人類誕生 400 万年展	平元. 4. 29～ 6. 18	106, 795
第 1 回名古屋国際ビエンナーレ・アーテック'89	7. 7～ 7. 23	5, 777
特別展 世界最新のホログラフィ	7. 29～ 9. 10	30, 260
特別展 スミソニアン ～アメリカの大発明展～	11. 3～12. 3	7, 230
特別展 発明王エジソン展	2. 4. 21～ 6. 17	78, 775
特別展 恐竜時代 ～日本と中国～	7. 21～ 8. 31	104, 335
企画展 ミクロの世界 ～細胞生物学へのとびら～	10. 20～11. 11	46, 929
企画展 世界を変えた科学書 ～科学・工学のルネサンス～	3. 4. 27～ 5. 12	33, 805
特別展 ロボットワールド ～夢と遊びを科学する～	7. 20～ 9. 1	106, 013
第 2 回名古屋国際ビエンナーレ・アーテック'91	10. 10～11. 10	54, 691
特別展 生命の大進化展	4. 3. 20～ 5. 10	69, 039
特別展 ザ・化学展'92	4. 7. 18～ 8. 30	72, 459
企画展 ふれあい地球ひろば	11. 1～11. 12	32, 409
第 3 回名古屋国際ビエンナーレ・アーテック'93	5. 4. 23～ 6. 6	50, 534
特別展 のりもの大集合展	7. 17～ 8. 31	88, 482
企画展 ガラスの科学展(電気室事故により途中打ち切り)	6. 3. 19～ 3. 24	8, 770
企画展 '93 名古屋タンポポ調査隊報告展	6. 7. 1～ 7. 17	28, 441
特別展 ふしぎ体感!! マジカル・サイエンス	7. 21～ 8. 31	101, 323
特別展 世界のモーターサイクル歴史展	9. 10～10. 16	30, 301
特別展 知られざるサメの世界展	11. 23～ 7. 1. 8	36, 251
企画展 エネルギー体験館 ～みよう・ふれよう電気の世界～	7. 1. 14～ 1. 29	29, 289
企画展 遺伝子のひ・み・つ	3. 18～ 4. 2	31, 118
第 4 回名古屋国際ビエンナーレ・アーテック'95	7. 4. 28～ 6. 25	41, 855
特別展 パリ発! 科学と遊ぶ夢空間「ラ・ビレット展」	7. 22～ 8. 31	48, 637
特別企画 クリスタルワールド		
① 特別展 スミソニアン博物館「大宝石・鉱物展」	9. 9～10. 29	74, 789
② 企画展 「結晶の科学展」		
特別展 シルクロード大恐竜展	8. 3. 23～ 5. 26	94, 384
特別展 ニュートンのおもしろサイエンス	8. 7. 20～ 9. 1	52, 472
特別展 大生命展	10. 10～11. 17	21, 499
特別行事 '96 青少年のための科学の祭典	11. 23～11. 24	11, 533
企画展 人間のあしのふしぎ	9. 3. 16～ 3. 30	25, 142
第 5 回名古屋国際ビエンナーレ・アーテック'97	9. 6. 6～ 7. 6	29, 690
特別展 クジラ・イルカ大研究	7. 19～ 8. 31	51, 138
企画展 空気と遊ぼう	9. 13～ 9. 28	27, 914
超空間展'97	10. 7～10. 26	31, 326
企画展 鉄道模型 50 年のあゆみ	11. 22～11. 24	10, 480
緊急企画 ボカボカ地球は大変! 君ならどうする? ～地球温暖化を科学しよう～	10. 2. 10～ 3. 1	22, 114
特別展 うごく・かなでる楽器たち ～オーケストラからオルゴールまで～	3. 21～ 5. 10	33, 107
ミニ企画展 科学と遊ぶ木のおもちゃ展	10. 4. 1～ 6. 30	147, 197
特別展 メディアトンネル探検隊～象形文字からインターネット～	7. 18～ 8. 30	47, 600
特別展 大恐竜展 ～失われた大陸ゴンドワナの支配者～	10. 31～11. 1. 17	99, 484
企画展 '98 名古屋タンポポ調査隊報告展	12. 19～11. 1. 17	78, 466
特別展 鳥のルーツを探る ～恐竜は絶滅しなかった! ?～	11. 3. 20～ 5. 16	45, 218
特別展 発見!! 石の王国 ～今明かされる地球の秘密～	11. 7. 17～ 8. 31	62, 574
企画展 かがく遊び ～家でできる化学の実験～	9. 15～ 9. 26	17, 503
特別展 中部地質情報展 ～20 億年のタイムトラベル～	9. 15～10. 11	45, 529
特別展 カオを学ぶ カオで遊ぶ ～大「顔」展～	10. 30～12. 1. 30	96, 867
特別展 宇宙展 2000 ～さあ始めよう時空の旅～	12. 3. 18～ 5. 14	64, 504

展 覧 会 名	開 催 期 間	入場者数(人)
特別展 匠(たくみ)のサイエンス	平 12. 7. 15～ 8. 31	39, 140
緊急企画展 これが東海豪雨だ	10. 13～12. 28	88, 994
企画展 君も気象予報士	13. 3. 17～ 3. 31	18, 669
ゴールデンウィーク企画展 「鉄道模型であそぼう」	13. 4. 29～ 5. 6	36, 505
特別展 からだ・ふしぎ発見	7. 20～ 9. 2	59, 387
企画展 素材とわたちの科学=建築とE. トロハ展 ～過去・現在・未来～	10. 11～10. 30	3, 517
企画展 野依良治 ノーベル化学賞への道	14. 1. 25～ 3. 3	38, 263
企画展 光とあそぼう	3. 16～ 3. 31	23, 509
特別展 目でみる『がん』展	14. 4. 13～ 6. 30	32, 395
開館 40 周年記念特別展 ロボットワールド	7. 20～ 9. 1	118, 878
企画展 鉄道模型であそぼう	11. 3～11. 4	6, 297
特別展 水俣・名古屋展	11. 16～15. 1. 13	8, 064
企画展 小柴・田中 ノーベル賞展	15. 1. 25～ 3. 2	53, 109
企画展 地球のデザイン	3. 15～ 3. 30	21, 638
特別展 手で考える!? 木組みからくり展	15. 7. 19～ 8. 31	88, 334
特別展 アート オブ スター・ウォーズ展	10. 18～12. 7	40, 272
古川為三郎サイエンス企画展 水とあそぼう	16. 3. 20～ 4. 4	26, 916
特別展 むし虫ワールド	16. 7. 18～ 8. 31	140, 661
古川為三郎サイエンス企画展 光る生きものたち ～輝く魅力と探求の浪漫	17. 3. 19～ 4. 3	19, 804
特別展 庶民の算術展	17. 4. 29～ 6. 26	3, 969
特別展 Go! Go! ゴールド	7. 16～ 8. 31	46, 018
なるほど・THE・エネルギー 科学市場	11. 3～11. 16	17, 710
古川為三郎サイエンス企画展 よみがえるレオナルド・ ダ・ヴィンチ「手稿」アイデアからの再現	18. 3. 18～ 4. 2	28, 916
特別展 のりものワールド	18. 7. 22～ 9. 3	85, 214
特別展 脳!～内なる不思議の世界へ	10. 7～12. 3	25, 170
古川為三郎サイエンス企画展 みんなで考える地球温暖化	19. 3. 17～ 4. 8	56, 219
特別展 ようこそ恐竜ラボへ～研究現場はこんなにおもしろい	3. 17～ 5. 27	57, 696
特別展 ザリガニワールド	19. 7. 21～ 9. 2	74, 334
企画展 地図記号わくわく大図鑑	9. 22～ 9. 30	14, 983
古川為三郎サイエンス企画展 よくわかる地球のこと	10. 13～10. 28	20, 110
企画展 名古屋城を科学する～ヒメボタルの巻	11. 3～20. 1. 14	70, 849
特別展 世界最大の翼竜展	20. 3. 20～ 6. 15	92, 024
特別展 発明ワールド～エジソンと日本の発明～	20. 7. 19～ 8. 31	48, 340
企画展 小林・益川・下村ノーベル賞展	21. 1. 31～ 3. 15	56, 537
古川為三郎サイエンス企画展 建築家になってみよう	3. 20～ 4. 5	27, 689
企画展 名古屋城を科学する パート2 ～本丸御殿復元の意義	3. 20～ 4. 5	27, 689
特別展 お菓子の秘密	21. 7. 18～ 8. 31	90, 521
古川為三郎サイエンス企画展 ガリレオの天体観測から 400 年 宇宙の謎を解き明かす	10. 17～11. 29	46, 225
プレ COP10 企画展 肉食恐竜マブサウルス～生命の絶滅と多様化	12. 5～ 3. 14	104, 826
企画展 電気をつくろう	12. 16～ 4. 11	148, 538
企画展 名古屋城を科学する パート3 ～石垣のナゾをときあかす	22. 3. 20～ 4. 4	32, 993

展 覧 会 名	開 催 期 間	入場者数(人)
天文館・理工館さよならフェスティバル 行こうよ、もう一度！思い出の科学館	平 22. 7. 3～ 8. 31	
特別展 ふしぎ！昆虫パワー	7. 17～ 8. 31	87, 589
COP10 開催記念企画展 生物多様性～あいちのニホンカモシカ	22. 10. 11～10. 31	24, 277
緊急企画展 小惑星探査機 はやぶさー帰還カプセル	10. 14～10. 18	17, 752
開館記念 古川為三郎サイエンス企画展 最新の映像技術 深海の不思議	23. 3. 19～ 5. 5	13, 815
特別企画 お化け屋敷で科学する！	23. 4. 23～ 6. 26	72, 886
新館開館記念特別展 黄河大恐竜展～中国・甘肅省大恐竜群の新発見～	7. 16～ 8. 31	157, 822
新館開館1周年記念特別展 OCEAN！海はモンスターでいっぱい	24. 3. 17～ 6. 10	105, 732
特別展 空飛ぶのりもの	24. 7. 21～ 9. 2	58, 323
企画展 見つめてふしぎ！人間の眼	11. 17～12. 2	6, 266
特別展 ドラえもんの科学みらい展	25. 3. 16～ 5. 6	123, 179
特別展 深海たんけん！	25. 7. 20～ 9. 1	136, 660
企画展 [世界を変えた書物] 展	9. 13～ 9. 29	13, 770
企画展 色いろカラフルワールド	11. 16～12. 1	11, 283
特別展 チョコレート展	12. 17～26. 2. 23	108, 414
特別展 発掘！モンゴル大恐竜展	26. 3. 19～ 6. 8	121, 976
特別展 ドラゴンボールで科学する！	26. 7. 16～ 8. 31	106, 746
企画展 教授を魅了した大地の結晶 北川隆司 鉱物コレク ション 200 選	9. 13～ 9. 23	7, 914
特別展 館長 庵野秀明 特撮博物館 ミニチュアで見る昭和 平成の技	11. 1～27. 1. 12	115, 054
特別展 夢と感動の宇宙展 「宇宙兄弟」ムッタとヒビトが 挑んだ空へ！	27. 3. 14～ 5. 24	88, 015
特別展 錯覚体験 ふしぎワールド！	27. 7. 18～ 8. 31	111, 605
企画展 バイオなものづくり	9. 12～ 9. 23	14, 909
特別展 生命大躍進-脊椎動物のたどった道-	10. 17～12. 13	113, 112
特別展 ポケモン研究所～キミにもできる！新たな発見～	12. 23～28. 3. 6	73, 497
特別展 恐竜・化石研究所	28. 3. 19～ 6. 12	108, 525
特別展 南極へ行こう！！～南極観測60周年記念特別展～	28. 7. 16～ 9. 4	86, 460
企画展 磁石とモーター	9. 17～ 9. 25	13, 360
特別展 チームラボアイランド 踊る！アート展と、学ぶ！ 未来の遊園地	11. 12～29. 2. 12	176, 081
特別展 恐竜の大移動～ティラノサウルス類と角竜の起源と 進化～	29. 3. 18～ 5. 28	99, 220
特別展 ロボットってなんだろう？	7. 15～ 9. 3	76, 156
企画展 さわってビックリ！見てフシギ？ 人間の皮膚	9. 16～ 9. 24	10, 938
特別展 恐竜の卵～恐竜誕生に秘められた謎～	11. 11～30. 2. 25	75, 719
特別展 マーベル展—時代が創造したヒーローの世界—	30. 3. 17～ 6. 10	132, 820

展覧会名	開催期間	入場者数(人)
特別展 名探偵コナン科学捜査展～ ^{アブダクション} 真実への推理～	平 30. 7. 14～ 9. 24	179, 277
企画展 私の南極展	11. 3～11. 11	7, 919
特別展 スイーツ展	11. 23～31. 2. 11	70, 565
特別展 血液ツアーズ「人体大解明の旅」	31. 3. 16～ 令 元. 6. 2	80, 302
特別展 絶滅動物研究所	元. 7. 6～9. 8	145, 566
企画展 国際周期表年2019特別展	9. 21～9. 29	4, 299
企画展 木のおもちゃ展～遊んでわかる動きや形の不思議～	11. 2～11. 10	3, 786
特別展 チームラボ☆学ぶ！未来の遊園地と、花と共に生きる動物達	11. 30～2. 2. 16	204, 994
特別展 マンモス展～その「生命」の過去と未来～	2. 3. 14～6. 14	開催中止※

※令和2年2月29日からの休館に伴い中止した。

6 観覧料の変遷

(1) 昭和37年11月1日 天文館開館

[全館]	大人	100円
	中人(高等学校及び中学校生徒)	70円
	小人(小学校児童及び幼児)	50円

(2) 昭和39年11月1日 理工館開館

[全館]	大人	150円
	中人(高等学校及び中学校生徒)	100円
	小人(小学校児童及び幼児)	70円

[天文館]	大人	100円
	中人(高等学校及び中学校生徒)	70円
	小人(小学校児童及び幼児)	50円

[理工館]	大人	70円
	中人(高等学校及び中学校生徒)	50円
	小人(小学校児童及び幼児)	30円

(3) 昭和51年4月1日 観覧料改定

[全館]	大人	200円
	小人(中学校生徒・小学校児童及び幼児)	100円

[展示室のみ]	大人	100円
	小人(中学校生徒・小学校児童及び幼児)	50円

(4) 昭和59年4月1日 観覧料改定

[全館]	大人	300円
	小人(中学校生徒・小学校児童及び幼児)	150円

※展示室のみは据置き

(5) 平成元年4月29日 生命館開館

[全館]	大人	500円
	小人(中学校生徒及び小学校児童)	200円

※小学校就学の始期に達するまでの者は無料

[展示室のみ]	大人	250円
	小人(中学校生徒・小学校児童)	100円

※小学校就学の始期に達するまでの者は無料

(6) 平成6年4月1日 観覧料改定

[全館]	大人	600円
	小人(中学校若しくは小学校に在学する生徒若しくは児童又はこれらに準ずる者)	100円

※小学校就学の始期に達するまでの者は無料

[展示室のみ]	大人	300円
	小人(中学校若しくは小学校に在学する生徒若しくは児童又はこれらに準ずる者)	無料

※小学校就学の始期に達するまでの者は無料

(7) 平成18年4月1日 観覧料改定

[全館]	大人	600円
	高大生(大学、短期大学、高等学校、高等専門学校、専修学校若しくは、各種学校又は、これらに準ずる学校に在学する者)	400円
	小人(小学校就学の始期に達するまでの者及び中学校若しくは小学校に在学する生徒若しくは児童又はこれらに準ずる者)	無料

[展示室のみ]	大人	300円
	高大生(大学、短期大学、高等学校、高等専門学校、専修学校若しくは、各種学校又は、これらに準ずる学校に在学する者)	200円
	小人(小学校就学の始期に達するまでの者及び中学校若しくは小学校に在学する生徒若しくは児童又はこれらに準ずる者)	無料

(8) 平成23年3月19日 観覧料改定

[全館]	大人	800円
	高大生 (大学、短期大学、高等学校、高等専門学校、専修学校若しくは、各種学校又は、これらに準ずる学校に在学する者)	500円
	小人 (小学校就学の始期に達するまでの者及び中学校若しくは小学校に在学する生徒若しくは児童又はこれらに準ずる者)	無料
[展示室のみ]	大人	400円
	高大生 (大学、短期大学、高等学校、高等専門学校、専修学校若しくは、各種学校又は、これらに準ずる学校に在学する者)	200円
	小人 (小学校就学の始期に達するまでの者及び中学校若しくは小学校に在学する生徒若しくは児童又はこれらに準ずる者)	無料

利 用 案 内

開館時間	午前9時30分から午後5時00分まで(入館は、午後4時30分まで)							
休館日	(1) 月曜日(祝日の場合は、直後の休日でない日)							
	(2) 毎月第3金曜日(祝日の場合は、第4金曜日)							
	(3) 年末年始(12月29日から1月3日まで)							
観覧料	区 分	当 日			定期観覧券(1年間有効)			
		展示室とプラネタリウム	展示室のみ	展示室とプラネタリウム	展示室のみ			
	大 人	800円	400円	3,200円	1,600円			
	高 大 生	500円	200円	2,000円	800円			
	小人(中学生以下)	無 料						
※団体は、30人以上は1割引、100人以上は2割引								
プラネタリウム 開演時間	投影開始時間 (投影時間約50分)	10:00	11:20	12:40	14:00	15:20	16:40	
	平 日	* 学習投影 一般投影	* 学習投影 一般投影	* 学習投影 一般投影	* 学習投影 一般投影	一般投影	一般投影	
	土曜 春・冬休み 4/1~4/5・12/24~ 1/6・3/25~3/31	一般投影	一般投影	一般投影	ファミリー アワー	一般投影	一般投影	
	日曜・祝日 夏休み 7/21~8/31	一般投影	ファミリー アワー	一般投影	ファミリー アワー	一般投影	一般投影	
*平日10:00、11:20、12:40、14:00の回につきましては、時期により投影内容が変更となります。						定員 345人		
実演実験 演出時間	実演 会場	名 称	平 日			土曜・日曜・祝日及び 8/13・8/14・8/15		
	理 工 館	5階	極寒ラボ	10:00 10:30 11:00 11:30 13:30 14:00 14:30 15:00 15:30 16:00 16:30	10:00 10:30 11:00 11:30 13:00 13:30 14:00 14:30 15:00 15:30 16:00 16:30			
		4階	放電ラボ	10:00 11:00 13:00 14:30 16:00	10:00 11:00 12:00 13:30 14:30 15:30 16:30			
	3階	竜巻ラボ	10:30 12:30 15:00	10:30 11:30 14:30 15:30				
		モノづくり 都市パノラマ	11:30 13:30 15:30	11:00 12:00 14:00 15:00				
	天文館	4階	サイエンス ステージ	11:00 12:00 14:00	11:00 13:00 14:00 15:00 16:00			
生命館	5階	生命ラボ	14:00	11:00 15:00				

(設置)

第 1 条 博物館法（昭和 26 年法律第 285 号。以下「法」という。）第 18 条の規定に基づき、近代科学に関する知識の普及啓発を目的として、次のように科学館を設置する。

名称 名古屋市科学館

位置 名古屋市中区栄二丁目 17 番 1 号

(事業)

第 2 条 名古屋市科学館（以下「科学館」という。）は、その目的達成のために次の事業を行う。

- (1) 科学に関する資料及び装置の展示
- (2) プラネタリウムによる天体運行等の映写及び天文観測の指導
- (3) 科学に関する図書の備付け並びに研究会、講習会、映画会等の開催
- (4) 科学技術に関する調査研究及び科学資料等の刊行
- (5) 科学知識の普及啓発に必要な他機関との協力
- (6) その他教育委員会（以下「委員会」という。）が必要と認める事業

(観覧料)

第 3 条 科学館に入館しようとする者は、別表に定める額の観覧料を納付しなければならない。

第 4 条 削除

(観覧料の減免)

第 5 条 委員会は、次の各号に掲げる者について、それぞれ当該各号に定める額を、別表に規定する個人の観覧料の額から減免する。ただし、第 1 号に定める額を減免した後の観覧料の額が 100 円未満となる場合の観覧料の額は、100 円とする。

- (1) 市内に住所を有する 65 歳以上の者 当該観覧料の 3 分の 2 の額（100 円未満の端数は、切り上げる。）
- (2) 身体障害者福祉法（昭和 24 年法律第 283 号）第 15 条に規定する身体障害者手帳の交付を受けている者その他の教育委員会規則で定める者 当該観覧料の全額

2 前項に定めるもののほか、委員会は、特別の事由があると認めるときは、観覧料を減免することができる。

(観覧料等の不還付)

第 6 条 既納の観覧料及び料金は、還付しない。ただし、委員会が特別の理由があると認めたときは、これらの全部又は一部を還付することができる。

(秩序保持)

第 7 条 次の各号の一に該当する者に対しては、入館を拒絶し、又は退館を命ずることができる。

- (1) でい酔者又は伝染性の疾患があると認められる者
- (2) 管理上必要な指示に従わない者
- (3) その他管理上支障があると認められる者

(損害賠償等)

第 8 条 建物、展示品、図書及びその他の器物を損傷し、又は滅失させた者は、これらを原形に復し、又はその損害を賠償しなければならない。

(職員)

第9条 科学館に、館長、学芸員その他必要な職員を置く。

(科学館協議会)

第10条 法第20条第1項の規定に基づき、科学館に名古屋市科学館協議会（以下「協議会」という。）を置く。

2 協議会の委員（以下「委員」という。）の定数は、15人以内とする。

3 委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者のうちから、委員会が委嘱する。

4 委員の任期は、2年とし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

5 委員は、再任されることができる。

6 委員会は、特別の事由があると認めるときは、任期中においても、委員を解任することができる。

(観覧時間等)

第11条 科学館の観覧時間及び休館日等に関しては、教育委員会規則で定める。

附 則 抄

1 この条例は、公布の日から施行する。

2 科学館の一般公開を開始する日は、市長が定める。

附 則 (昭和39年条例第64号)

この条例は、昭和39年11月1日から施行する。

附 則 (昭和41年条例第19号)

この条例は、名古屋都市計画事業復興土地区画整理事業施行地区内の中第1工区及び中第2工区に係る土地区画整理事業の換地処分公告があった日の翌日から施行する。

附 則 (昭和51年条例第17号)

この条例は、昭和51年4月1日から施行する。

附 則 (昭和55年条例第10号)

この条例は、昭和55年4月1日から施行する。

附 則 (昭和59年条例第26号)

この条例は、昭和59年4月1日から施行する。

附 則 (平成元年条例第4号)

この条例は、平成元年4月29日から施行する。

附 則 (平成6年条例第7号)

この条例は、平成6年4月1日から施行する。

附 則 (平成6年条例第17号)

この条例は、平成6年4月1日から施行する。

附 則 (平成17年条例第112号)

この条例は、平成18年4月1日から施行する。

附 則 (平成22年条例第5号)

1 この条例の施行期日は、規則で定める。(平成23年規則第2号で平成23年3月19日から施行)

2 この条例による改正前の名古屋市科学館条例別表の定期観覧券を使用する場合に係るこの条例の施行の日以後の使用については、なお従前の例による。

附 則（平成 24 年条例第 8 号）

この条例は、平成 24 年 4 月 1 日から施行する。

別表

区分	観覧料の額			
	1 回券（1 人につき）			定期観覧券 （1 年券）
	個人	団体		
		30 人以上 100 人未満	100 人以上	
一般	800 円 (400 円)	720 円 (360 円)	640 円 (320 円)	3,200 円 (1,600 円)
大学生又は高校生	500 円 (200 円)	450 円 (180 円)	400 円 (160 円)	2,000 円 (800 円)

備考

- 1 一般とは、15 歳以上の者（「大学生又は高校生」及び中学校又はこれに準ずる学校に在学する者を除く。）をいう。
- 2 大学生又は高校生とは、大学、短期大学、高等学校、高等専門学校、専修学校若しくは各種学校又はこれらに準ずる学校に在学する者をいう。
- 3 小学校就学の始期に達するまでの者及び中学校若しくは小学校又はこれらに準ずる学校に在学する者は、無料とする。
- 4 ()内の額は、科学館のプラネタリウム室を利用しない者が科学館に入館しようとする場合に適用する。
- 5 特別装置の展示、映画会の開催その他の特別の催しをする場合における観覧料の額は、この表に定める 1 回券の金額を超え当該金額に 3 を乗じて得た額までの金額とすることができる。
- 6 特殊の装置を自ら運転する者は、この表に定める観覧料のほか、委員会が定める料金を納付しなければならない。

(趣旨)

第 1 条 名古屋市科学館条例(昭和 37 年名古屋市条例第 27 号。以下「条例」という。)の施行に関し必要な事項は、別に定めるもののほか、この規則の定めるところによる。

(開館時間等)

第 2 条 名古屋市科学館(以下「科学館」という。)の開館時間は、午前 9 時 30 分から午後 5 時までとし、科学館に入館することができる時間(次項において「入館時間」という。)は、午前 9 時 30 分から午後 4 時 30 分までとする。

2 教育委員会(以下「委員会」という。)は、必要があると認めるときは、前項の開館時間又は入館時間を変更することができる。

(休館日)

第 3 条 科学館の休館日は、次のとおりとする。

(1) 月曜日(国民の祝日に関する法律(昭和 23 年法律第 178 号。以下「法」という。)に規定する休日にあたるときは、その直後の法に規定する休日でない日)

(2) 毎月第 3 金曜日(法に規定する休日にあたるときは、第 4 金曜日)

(3) 12 月 29 日から 1 月 3 日まで

2 委員会は、特に必要があると認めるときは、休館日を臨時に定め、又は前項の休館日を変更することができる。

(団体の人員の計算)

第 4 条 条例別表に規定する団体の人員の計算は、団体を構成する総人員(観覧料を納付しない者を除く。)によって行う。

(観覧券)

第 5 条 観覧料の徴収と引き換えに、観覧券を発行する。ただし、委員会が特別の事由があると認めるときは、観覧料を後納させることができる。

(観覧券の種類)

第 6 条 観覧券は、科学館観覧券、科学館(プラネタリウム室を除く。)観覧券、団体観覧券、団体観覧券(プラネタリウム室を除く。)、定期観覧券及び定期観覧券(プラネタリウム室を除く。)とする。

2 条例別表に規定する特別装置の展示、映画会の開催その他の特別の催しをする場合においては、前項の規定にかかわらず、その都度、当該特別の催しを象徴するような特別観覧券を発行することができる。

3 観覧券の様式は、別に定める。

第 7 条 削除

(観覧券の改札)

第 8 条 観覧券の発行を受けた者は、入口において観覧券の改札を受けなければならない。

(観覧料の減免)

第 9 条 条例第 5 条第 1 項第 2 号に規定する規則で定める者は、次に掲げる手帳又は受給者証のいずれかの交付を受けている者とする。

- (1) 身体障害者福祉法（昭和 24 年法律第 283 号）第 15 条に規定する身体障害者手帳
- (2) 戦傷病者特別援護法（昭和 38 年法律第 168 号）第 4 条に規定する戦傷病者手帳
- (3) 原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律（平成 6 年法律第 117 号）第 2 条に規定する被爆者健康手帳
- (4) 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律（昭和 25 年法律第 123 号）第 45 条に規定する精神障害者保健福祉手帳
- (5) 市長の発行する愛護手帳（これに類する療育手帳等を含む。）
- (6) 難病の患者に対する医療等に関する法律（平成 26 年法律第 50 号）第 7 条に規定する医療受給者証
- (7) 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（平成 17 年法律第 123 号。以下「障害者総合支援法」という。）第 22 条第 8 項に規定する障害福祉サービス受給者証（障害者総合支援法第 4 条第 1 項の政令で定める特殊の疾病に罹患している者（以下「特殊疾病者」という。）に係るものに限る。）
- (8) 障害者総合支援法第 51 条の 7 第 8 項に規定する地域相談支援受給者証（特殊疾病者に係るものに限る。）
- (9) 市長の発行する移動支援・地域活動支援受給者証（これに類するものを含む。）（特殊疾病者に係るものに限る。）

2 条例第 5 条第 2 項の規定により観覧料を減免することができる場合及びその額は、次のとおりとする。

- (1) 幼稚園、小学校若しくは中学校又はこれらの学校に準ずる学校の教育課程に基づく教育活動の一環として幼児、児童又は生徒の引率者が入館する場合 観覧料の全額
- (2) 市内の高等学校又はこの学校に準ずる学校の教育課程に基づく教育活動の一環として生徒及びこれらの者の引率者が入館する場合 観覧料の 5 割相当額
- (3) 児童福祉法（昭和 22 年法律第 164 号）に規定する児童福祉施設に入所している児童及びその引率者が教育上の目的で入館する場合 観覧料の全額
- (4) 前項に定める者に同行する介護者（前項に定める者 1 人につき 2 人以内に限る。）が入館する場合 観覧料の全額
- (5) 市内に住所を有する 65 歳以上の者（以下「市内の高齢者」という。）が定期観覧券により入館する場合 観覧料の額に 3 分の 2 を乗じて得た額（100 円未満の端数は、切り上げる。）
- (6) 市内の高齢者が条例別表に規定する団体の構成員として入館する場合 次の表に定める額

区分	団体	
	30人以上100人未満	100人以上
一般	540円 (270円)	480円 (240円)
大学生又は高校生	360円 (90円)	320円 (80円)
備考 ()内の額は、科学館のプラネタリウム室を利用しない者が科学館に入館しようとする場合に適用する。		

(7) その他委員会が特別の事由があると認める場合 その都度委員会が定める額
(観覧料の減免申請手続)

第10条 前条第2項(第4号から第6号までを除く。)の規定による観覧料の減免を受けようとする者は、観覧料減免申請書(別記様式)を委員会に提出しなければならない。ただし、同項第7号の規定による場合において委員会が特別の事由があると認めるときは、この限りでない。

(共通観覧券)

第10条の2 委員会は、必要があると認めるときは、他の施設との共通観覧券を発行することができる。

2 前項の共通観覧券の様式は、別に定める。

(優待券等)

第11条 委員会は、必要があると認めるときは、優待券又は招待券を発行することができる。

(観覧券付クーポン)

第12条 委員会は、特に必要があると認める場合に限り、旅客輸送を主たる業務とする者又は旅行業法(昭和27年法律第239号)により旅行業の登録を受けた者と共同して観覧券付クーポンを発行することができる。

2 前項の観覧券付クーポンを発行する場合の観覧料の額は、そのつど委員会が定める。

(観覧料の還付)

第12条の2 条例第6条ただし書の規定により既納の観覧料の全部又は一部を還付する場合は、次のとおりとする。

(1) 科学館の展示室又はプラネタリウム室(以下「展示室等」という。)を利用しようとする者の責めに帰することのできない理由によって展示室等を利用することができなくなったとき。

(2) その他委員会が特別の理由があると認めるとき。

(協議会の会長及び副会長)

第13条 名古屋市科学館協議会(以下「協議会」という。)に会長及び副会長1人を置き、それぞれ委員の互選により定める。

2 会長及び副会長の任期は、1年とする。ただし、再任を妨げない。

3 会長は、会務を総理し、会議の議長となる。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(協議会の会議)

第14条 協議会の会議は、会長が招集する。

2 協議会の会議は、定例会及び臨時会とする。

3 定例会は、毎年2回招集する。

4 臨時会は、必要に応じて招集する。

5 協議会は、委員の過半数が出席しなければ、会議を開くことができない。

6 協議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(説明又は資料の請求等)

第15条 会長は、会議において関係職員に対し説明又は資料の提出を求めることができる。

2 関係職員は、会議に出席して意見を述べることができる。

(協議会の庶務)

第16条 協議会の庶務は、科学館において行う。

(委任)

第17条 この規則の施行に関し必要な事項は、教育長が定める。

附 則

1 この規則は、昭和55年4月1日から施行する。

2 この規則施行の際現に市立名古屋科学館条例施行細則(昭和37年名古屋市規則第70号。以下「旧規則」という。)の規定に基づく優待券を所持する者の使用については、なお従前の例による。

3 この規則施行の際現に旧規則に基づいて提出されている観覧料減免申請書は、この規則の規定に基づいて提出されたものとみなす。

4 この規則施行の際現に旧規則の規定に基づいて調製されている観覧券及び観覧料減免申請書は、残量のある限り、使用することができる。ただし、観覧料減免申請書については、この規則の様式の要件を満たすよう修正するものとする。

[中略]

附 則（令和元年教育委員会規則第 2 号）

- 1 この規則は、令和元年 7 月 1 日から施行する。
- 2 この規則の施行の際現にこの規則による改正前の各規則の規定に基づいて提出されている申請書等は、この規則による改正後の各規則の規定に基づいて提出されたものとみなす。
- 3 この規則の施行の際現にこの規則による改正前の各規則の規定に基づいて交付されている許可書等は、この規則による改正後の各規則の規定に基づいて交付されたものとみなす。
- 4 この規則の施行の際現にこの規則による改正前の各規則の規定に基づいて作成されている用紙で残量のあるものについては、この規則による改正後の各規則の規定にかかわらず、当分の間、修正して使用することができる。

別記様式(第10条関係)

名古屋市科学館観覧料減免申請書	
年 月 日	
(宛先) 名古屋市教育委員会	
(申請者)	
住 所 (団体は主な事務所の所在地及び名称)	
氏 名 (団体は代表者氏名)	
電話 自宅 (団体は主な事務所)	
勤務先	
次のとおり観覧料の減免を受けたいので申請します。	
観 覧 の 種 別	
観 覧 年 月 日	年 月 日
観 覧 の 人 員	
引率者の職氏名	
観 覧 の 目 的	
減免を受けようとする理由	
減免を受けようとする金額	
そ の 他	

(備考) 用紙の大きさは、日本産業規格 A4 とする。

位置略図



交通アクセス

- 地下鉄東山線・鶴舞線「伏見」下車 4,5番出口から南へ徒歩5分
- 市バス「広小路伏見」下車 南へ徒歩5分
- 名鉄バス「白川公園前」下車 北へ徒歩5分

名古屋市科学館要覧

(令和2年度)

発行 名古屋市科学館
発行年月 令和2年8月



名古屋市科学館
NAGOYA CITY SCIENCE MUSEUM

〒460-0008 名古屋市中区栄二丁目 17 番 1 号

(芸術と科学の杜・白川公園内)

TEL (052) 201-4486

FAX (052) 203-0788

団体予約専用 TEL (052) 231-9771

インターネットホームページ <http://www.ncsm.city.nagoya.jp/>